

平成28年度

**福岡市美術館
活動の記録**

Fukuoka Art Museum
Annual Report 2016

凡例	3
美術館の主要事業	4
美術館日誌	4
福岡市美術館リニューアル事業	4
展示活動	5
特別企画展	5
常設展	7
常設企画展	9
クロージング／リニューアル特別企画展	10
クロージング／リニューアル関連イベント	11
展覧会関連記事	13
リニューアル中の作品展示実績	15
教育普及活動	17
こどもアートアドベンチャー	17
読書室企画	17
つきなみ講座	18
福岡ミュージアムウィーク2016	19
夏休みこどもおとなも美術館	20
どこでも美術館	21
ボランティア活動	22
出版物	26
連携・協力事業	28
福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡市博物館連携企画	28
協力事業	29
調査研究活動	30
紀要の発行	30
館外調査	30
収集活動	31
美術資料	31
図書・映像資料	37
美術資料の修復・貸出	38
修復	38
貸出	39
施設の利用状況	43
展示室	43
講堂等	45
入場者数一覧	46
平成28年度月別観覧者数	46
読書室利用者数	46
名簿	47

本冊子は福岡市美術館の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH28は平成28年の略字である。

執筆者および展覧会・企画担当者は次の通り。それぞれの肩書きについては47頁の名簿を参照のこと。岩永悦子、山口洋三、鬼本佳代子、後藤恒、正路佐知子、吉田暁子、渡抜由季、崎田明香、ギャレット三宅万里子、中原千代子、土橋佳那子(以上、学芸課)、吉崎謙作(リニューアル事業課)。

主要展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。

「収集活動」の「美術資料」の購入は平成28年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は、高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。なお、欠番の8と10は、加藤資料(8)および奥村資料(10)であったが、福岡市博物館の開館に伴い、平成3年3月31日に移管した。

1 郷土作家(注1)	A 油彩画等(注2)	作品番号
2 日本作家	B 日本画等(注3)	
3 海外作家	C 水彩等(注4)	
4 黒田資料	D 素描	
5 東光院仏教美術資料	E 版画	
6 松永コレクション	F 写真	
7 太田コレクション	G 彫刻等(注5)	
9 石村コレクション	Ha~Hf 工芸(注6)	
11 森山コレクション	I 書跡	
12 三宅コレクション	J 文書	
13 山崎朝雲資料	K その他	
14 一般古美術資料	L 映像	
15 研究資料		
16 西本コレクション		
17 本多コレクション		
18 クスマコレクション		
19 藤森静雄資料		
20 森田コレクション		
21 川村コレクション		
22 栗田コレクション		
23 リーコレクション		
24 小西コレクション		
25 門田コレクション		

例) 1-A-452 → 郷土作家・油彩画・452番

注

- 九州および山口県、沖縄県の出身・在住作家。
- A(油彩等)の分類には、大きさの形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわちアクリル絵具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属等の特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から観賞される壁面展示の作品、版画技法を用いても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
- B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む
- C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
- G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
- H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

美術館日誌

平成28年

4月15日(金)	美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
5月14日(土)	物・語—近代日本の静物画—(7月3日まで)
6月1日(水)	美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
5月14日(土)	福岡ミュージアムウィーク2016(5月22日まで)
7月15日(金)	ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡(8月31日まで)
8月2日(火)	歴史する! Doing history!(8月31日まで)
8月10日(木)	平成28年度第1回福岡市美術館協議会
8月31日(水)	クロージングイベント(9月1日から休館)
9月14日(木)	美術資料収集審査(古美術)
11月17日(木)	美術資料収集審査(古美術)
11月24日(木)	美術資料収集審査(近現代美術)
12月1日(木)	美術資料寄贈者に対する感謝状贈呈式
12月	事務所移転

平成29年

3月16日(木) 平成28年度第2回福岡市美術館協議会

福岡市美術館リニューアル事業

1 事業目的

福岡市美術館は昭和54年11月の開館から37年が経過し、施設・設備の老朽化、スペース不足、ユニバーサル化の遅れなど様々な問題を抱えている。本事業は、民間活力やノウハウを活用することで、大規模改修及びリニューアル後の維持管理・運営を効果的・効率的に実施するとともに、ソフト・ハードの両面においてさらなる魅力の向上を図ることを目的とする。

2 事業方式

事業方式：PFI(RO)方式

事業類型：サービス購入型、一部独立採算(レストラン等)

3 事業者の選定方式

総合評価一般競争入札方式

4 契約の相手方等

契約の相手方：福岡アートミュージアムパートナーズ株式会社

事業期間：平成28年2月23日から平成46年3月31日まで

5 事業範囲

設計・建設業務	実施設計,改修工事,工事監理など
開館準備業務	リニューアル広報,収蔵品等情報システム開発など
維持管理業務	建築物及び設備保守管理,清掃,警備など
運営業務	利用者対応,広報・集客,レストラン・カフェの運営など

6 事業スケジュール

平成27年 4月 入札公告

10月 落札者の決定・公表

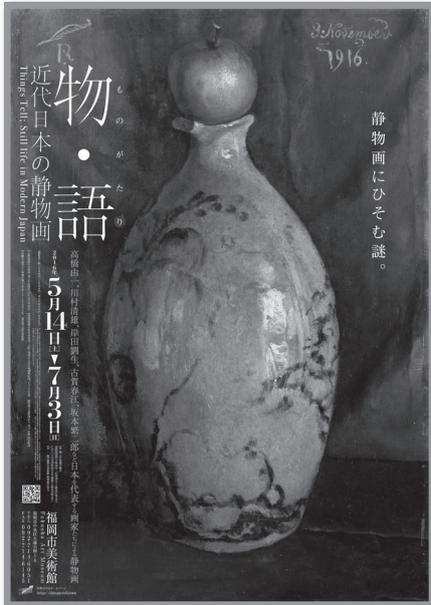
平成28年 2月 事業契約の締結

9月 閉館

平成31年 3月 リニューアルオープン

特別企画展

ものがたり
「物・語 —近代日本の静物画—」



ポスターB2



会場の様子

会 期 平成28(2016)年5月14日(土)～7月3日(日)
 場 場 特別展示室A
 内 容 優れた静物画においては「物」が「語る」。「第1章 歌うしゃれこうべ」「第2章 輝くりんご」で明治期以降の日本における静物画の歩みをたどり、「第3章 取れた把手」で表現の意味を掘り下げ、近代日本における静物画の意義を探った。45人の作家による作品と資料、合計99点を展示した。
 明治期の画家達は「死せる自然」を描く新画題として静物画を手がけ、実物を克明に描き出す技術に基づいてせめぎあう新旧の価値観を表現した。明治末期以降、高村光太郎による論文「静物画の新意義」が予告したように、自己表現の名の下で作品は多様化した。前2章において大正期までの静物画史をたどり、第3章で静物画に手を描き入れるという大正期に岸田劉生が行った、表現を取り上げ急展開を遂げた静物画及び日本の近代絵画のあり方を問う試みとして、戦後に続く絵画史に関連づけた。
 会場では、57点の作品について関係者の許可に基づき撮影を許可した。

出 品 点 数 99点
 主 催 福岡市美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送
 後 援 福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、ジェイコム九州
 助 成 (公財)花王芸術・科学財団
 観 覧 料 一般1,200(1,000)円、高大生800(600)円、中学生以下無料
 ※()内は前売り、20人以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。
 ※以下は観覧無料。
 ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名。
 ・特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者。

開 催 日 数 44日間
 観 覧 者 数 8,052人
 印 刷 物 【ポスター】B1、B2、B3
 【チラシ】A4、A3二つ折り
 【図録】B5・160頁

ウェブサイト things-tell.com

展覧会担当：吉田暁子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
①5月14日(土) ②6月11日(土) ③6月18日(土) ④6月25日(土) ⑤7月 2日(土)	担当学芸員によるギャラリートーク	13:00～ 14:00～ 11:00～ 11:00～ 14:00～	講師：吉田暁子 聴講者数：①35人、②13人、③15人、④20人、⑤28人	特別展示室A
5月28日(土)	つきなみ講座：「近代・日本・静物画―「物・語」展を楽しむために―」	15:00～	講師：吉田暁子 聴講者数：32人	教養講座室
6月4日(土)	ワークショップ「物を語る」	10:00～12:00	参加者数：2人	教養講座室
①6月 5日(日) ②6月26日(日) ③6月12日(日) ④6月26日(日)	ワークショップ(主催：福岡DIY同好会) ①、「絵画に刺しゅうしよう! トートバッグ作り」 ③、「額縁をつくろう!」	①13:00～15:00 ②13:00～15:00 ③13:00～15:00 ④10:00～12:00	参加者数：①11人、② 9人、③ 2人、④14人 参加費：1800円(小学1、2年生は保護者同伴で1人分の料金)	教養講座室
6月18日(土)	特別講演「静物画 ―表現と再現のモアレ」	14:00～16:00	講師：北澤憲昭(女子美術大学教授・美術史家) 聴講者数：144人	講堂

ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡



ポスターB2



会場の様子

会期 平成28年7月15日(金)～8月31日(水)
 会場 特別展示室A
 内容 1954(昭和29)年に公開された東宝映画「ゴジラ」は、怪獣ゴジラの魅力、ミニチュアと合成を駆使した迫真の特撮、そして水爆のような人類規模の災厄を生んだ科学技術への疑念という社会的テーマ等が結晶した、比類ない作品だった。大ヒットした映画「ゴジラ」は、特撮映画というジャンルを日本映画に確立し、以後、昭和30年代から平成、そして21世紀を迎えた2004(平成16)年まで、50年間で28作に及ぶ大きな足跡を日本映画史上に刻んできた。2016年7月29日には、待望の新作「シン・ゴジラ」が公開された。今回の展覧会では、ゴジラ映画における特撮の造形、デザイン画、セット図面、記録写真等、並びにゴジラ映画をもとに生み出されたイラストや立体造形に焦点を当て、そこから日本の映画人たちの想像力・創造力・表現力について検証し、そしてゴジラという題材の持つ限りない魅力を紹介した。また、新作映画「シン・ゴジラ」関連の展示も行った。

出品点数 679点(パネルで展示した写真含む)
 主催 福岡市美術館、西日本新聞社、毎日新聞社、九州朝日放送、テレビ西日本、TVQ九州放送
 協力 東宝、東宝映像美術、東宝アド
 企画協力 北海道立近代美術館、北海道新聞社
 後援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、LOVE FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、(一社)日本自動車連盟福岡支部、(一社)福岡市タクシー協会、福岡商工会議所、(一社)日本旅行業協会、西日本文化サークル連合、西日本新聞TNC文化サークル、毎日メディアサービス

助成 (公財)福岡文化財団
 観覧料 一般1,400円(1,200円)、高大生800円(600円)、小中生500円(300円)
 ※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。
 満65歳以上の方はチケット購入時に年齢がわかるもの【健康保険証、運転免許証等】を提示のこと。
 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名および特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の提示者は観覧無料

開催日数 41日間
 観覧者数 62,685人
 印刷物 【ポスター】B1,B2,B3
 【チラシ】A3二つ折り

展覧会担当：山口洋三、中山喜一郎

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
7月24日(水)	映画「ゴジラ」(1954年公開：デジタルリマスター版)特別上映会	14:00～15:30	ゴジラの原点である映画第1作を上映。 参加者数：190人	講堂
8月2日(火)～6日(土)	特別バックヤードツアー「Godzilla meets 'F' museum.」	(1回目)15:30～ (2回目)16:30～ (3回目)17:30～	協力：九州大学芸術工学部上岡研究室、東京大学大学院廣瀬・谷川・鳴海研究室(当日受付、各回定員5グループ ※1グループ4人まで) 参加者数：(2日)15グループ28名、(3日)15グループ28名、(4日)15グループ28名、(5日)10グループ19名 ※雨天により1回中止(6日)11グループ29名 ※雨天により1回中止 合計132人	教養講座室など館内各所
8月11日(水・祝)	三池敏夫氏 特別講演会「日本特撮・昭和から平成」	14:00～16:00	講師：三池敏夫(美術監督、特撮研究所所属) 聴講者数：218人	講堂
8月13日(土)	つきなみ講座・特別編「なぜ美術館でゴジラ展、なのか?」	15:00～16:30	講師：山口洋三 聴講者数：73人	教養講座室
①7月16日(土) ②8月13日(土)	まあまアニアック?なギャラリートーク	①14:00～15:00 ②17:00～18:00	講師：山口洋三 聴講者数：①45人、②62人	特別展示室
8月27日(土)	佐野史郎氏緊急特別講演会	14:00-16:00	講師：佐野史郎(俳優) 聴講者数：242人	講堂

常設展

近現代美術室

■TRACES | 轍 — 近現代美術コレクション形成のあゆみをたどる

平成27年6月16日(火)～平成28年8月31日(水)

福岡市美術館の近現代美術セクションでは、20世紀以降(明治以降)の国内外および九州・山口地域の様々な美術動向を代表する作品を収集対象としている。

リニューアル休館前最後となる本展示では、テーマ別・傾向別展示ではなく、近現代美術コレクション形成の歩みを作品によってたどることとした。タイトルの「TRACES」は、作品一点一点を歴史や記憶を刻み込む痕跡と捉え、つけたものである。ラファエル・コラン《海辺にて》、ジョアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》、サルバドール・ダリ《ポルト・リガトの聖母》といった当館のコレクションを特徴づける作品をはじめ、重要な展覧会活動と絡む作品を収集年順に並べた。キャプションには購入／寄贈の別と収蔵年を明記するとともに、収集にまつわるエピソードも添えることで、美術館準備室時代も含めると40年以上にわたる美術館の活動の歴史を振り返った。

しかしながら現在、当館の所蔵品のみでは福岡市美術館の収集の歴史をたどることはできない。なぜなら開館より約20年間福岡市美術館の重要な活動のひとつだったアジア近現代美術への取り組みが、1999年の福岡アジア美術館開館に伴い移管されたからである。この空白部分を埋めるべく、本展示では会期終盤の2016年6月28日より、福岡アジア美術館から借用したアジア近現代美術作品8点を展示に組み込んだ。これらは福岡市美術館時代に収集されたものである。福岡アジア美術館への作品移管後、常設展において初のアジア近現代美術作品の里帰り展示となった。本展は、最終章を2000年代の活動に充て、特に同時代の美術を紹介すべく収集を続けてきたことを示した。その中の多くが2000年代前半までの収蔵であること、高額作品の購入が2005年で停止していることに気づいたのだろうか。福岡市美術館はリニューアル後どのような展覧会活動、収集活動をしていくのか。未来にむけた課題をここで投げかけることも、担当者が意図したことである。(正路)



展示会場入口の様子(平成28年6月28日～8月31日)

企画展示室／小作品室／日本画工芸室

■GIFTS～平成27年度新収蔵品・近年の寄贈作品

平成28年4月12日(火)～6月19日(日)

1974(昭和49)年より開始された収集活動により、古美術、近現代美術合わせておよそ16000点の作品を所蔵するに至った。そのうち古美術の約8割、近現代美術の約6割の作品が、所蔵家、作家、作家のご遺族からの寄贈によるものである。しかし、それらの中で、大コレクターからの寄贈作品——たとえば松永安左衛門(耳庵)の「松永コレクション」(古美術)、第5代太田清蔵の「太田コレクション」(古美術・近現代美術)、西本宏の「西本コレクション」(近現代美術)等といった大量の寄贈作品は、当館所蔵品の代表的な作品を含み、質量ともに優れ、まとまった展示の機会を多く作ってきた。また、近現代美術においては、九州山口地域ゆかりの美術家本人またはご遺族からほぼ毎年寄贈のお申し出があり、地域美術史を考える上で重要な作品群となっている。

しかし一方、一般個人の方々からの寄贈作品に関しては、その展示の頻度は決して十分とは言えなかった。リニューアル工事のための休館を間近に控えた今、この10数年の間の個人の方々からの寄贈作品を、昨年度収集した新収蔵作品と共に59点を展示した。(山口)



会場の様子(小作品室)

■This Is Our Collection

—これがわたしたちのコレクション(近現代美術編)

平成28年6月21日(火)～8月31日(水)

企画展示室・小作品室・日本画工芸室では、近現代美術作品のうち油彩画、日本画、版画、素描など、ジャンルごとに代表作を厳選し展示した。

企画展示室では、青木繁や藤島武二ら日本画壇を代表する作家が描いた具象画から、ポール・デルヴォー、アントニ・タビエス、ルチオ・フォンタナなど海外作家が試みた抽象表現、さらに白髪一雄や中西夏之、菊畑茂久馬といった新たな表現を目指した現代美術を紹介した。当館所蔵作品のうち油彩・彫刻作品の中から、油彩と彫刻による表現への挑戦と可能性が広がる作品を厳選し15点展示した。(渡抜)

小作品室では、小型作品ならではの繊細な質感と実験的手法のもたらす効果に注目し、ヴォルス、瑛九、加納光於など国内外の12作家による作品を媒体別に合計30点(素描1,水彩7,日本画2,版画15,写真5点)展示した。会期中、前川國男による建築として当館を紹介するツアーの中で、前川が師事したル・コルビュジェによる詩画集『直角の詩』(版画作品7点を展示)を紹介した。(吉田)

日本画工芸室では、富岡鉄斎に始まり、横山大観、富田溪山、水上泰生、吉村忠夫、小早川清、上田宇三郎、甲斐巴八郎、東山魁夷、麻田鷹司、そして現代美術のフィールドで日本画の画材にこだわり制作する日高理恵子まで、11作家の作品を紹介した。福岡市美術館の日本画のコレクションのなかでも、代表的な作家・作品といえるものばかりである。華やかかつ技巧的な実験も見られるラインナップを制作年順に並べることで、20世紀における日本画の歩みをもたどれる展示づくりを目指した。(正路)



巖嘯《レインボー・ブック・オン・ザ・テーブル》1965年

古美術企画展示室／松永記念館室

■常設企画展

日本・シンガポール外交関係樹立50周年記念
サロンクバヤ | シンガポール 麗しのスタイル
つながりあう世界のプラナカン・ファッション展

平成28年4月17日(日)～6月12日(日)

※p.9を参照

東光院仏教美術室

■東光院の仏教美術

平成28年4月17日(日)～6月12日(日)

薬王密寺東光院(福岡市博多区吉塚)から寄贈された重要文化財を含む仏像を展示。薬師如来立像(平安時代)、十二神将立像(平安時代)など。



会場の様子(東光院仏教美術室)

古美術企画展示室／松永記念館室／東光院 仏教美術室

■This Is Our Collection—

これがわたしたちのコレクション(古美術編)

平成28年6月21日(火)～8月31日(水)

全ての常設展示室において当館所蔵の美術コレクションのエッセンスを紹介するという、長期休館前だからこそ実現可能な展覧会、その古美術編である。「わたしたち」とは、当館のコレクションを築き、支え、享受する全ての人々のことであるが、その中心的な存在が、当館のコレクション形成の主役となってきた多くの寄贈者である。特に古美術部門は、約4000件の収蔵品のうちの8割が寄贈による。一つの寄贈が呼び水となって、また別の寄贈につながったこともあれば、当館歴代の学芸員による調査・研究活動と、その成果としての展覧会企画・開催を重ねる中で育まれた人脈や信頼関係から寄贈に至った例も少なくない。当館史上最大の館蔵古美術名品展となった本展は、かくして寄贈によって紡がれた当館のコレクション形成史を辿る試みでもあった。

展示総数は146件(展示替えあり)。開館以来37年間に築き上げられてきた古美術コレクションの全体像が見えるよう、大規模な一括寄贈コレクションを柱に章を仕立てて全体を構成した。専用の展示室を持つ松永コレクションの茶道具と東光院の仏教美術はさることながら、古美術企画展示室では黒田資料(一部購入・一部寄託)、太田・石村・三宅・森山・本多・クスマ・川村・森田・栗田といった大規模寄贈コレクション、そして一般資料(一般個人の方々からの寄贈品及び市費による購入品)という各コレクションの括りでコーナー分けをし、それぞれから代表作といえる作品を選定した。陳列にあたっては、およそ一括コレクションの収蔵年順にコーナーを配置し、なるべく内容の近いコレクション同士でエリアをまとめ、エリアの境界にもできるだけ時代的、地域的な接点が見出せるよう努めた。

形も色も大きさも時代も地域も様々な作品群からなる「わたしたちのコレクション」が、おぼろげながらも初めてその全身像を露わにした展覧会となった。(後藤)



会場の様子(古美術企画展示室)

常設企画展

日本・シンガポール外交関係樹立50周年記念 サロクバヤ | シンガポール麗しのスタイルつながりあう 世界のプラナカンファッション展



ポスターB2



会場の様子

会 期 平成28年4月17日(日)～平成28年6月12日(日)
 場 古美術企画展示室・松永記念館室
 内 容 プラナカン(Peranakan)とは、東南アジアにわたり、現地の女性と結婚して定住した主に中国からの移民の子孫を指す。交通の要衝であるシンガポールほか東南アジア地域に定住したプラナカンたちは、数百年にわたってアジア・ヨーロッパと交わり、ハイブリッドな文化を形成してきた。その文化を象徴するのが、クバヤと呼ばれるブラウスト、サロンと呼ばれるバティックのスカートを組み合わせた、プラナカン女性のファッションである。シンガポール国立アジア文明博物館およびプラナカンの名家であるリー家のリー・キップリー夫妻コレクションを中心に、サロンとクバヤ、インド更紗のローブ、ジュエリーやビーズのサンダルなど136点を紹介した。本展の中心となるのは、19世紀後半から約100年にわたるプラナカンの女性ファッションの変遷である。19世紀後半の天然染料で染められたバティックのバジュバンジャンあるいはクバヤバンジャン(長い上着の意)が、20世紀初頭には華やかな文様の、薄透けるヨーロッパのオーガンジーに取って替わった様子や、バジュバンジャンがヨーロッパ系の女性たちによって着用されたウエスト丈の白いクバヤの形態をとりこんで、精巧なレースを用いたクバヤや、多様な色彩の布地に華やかな刺繍を施したクバヤへと変貌していく様子を、時代を追って展示。東は中国から西はヨーロッパまで、さまざまな地域の要素を取り入れて新たな美を表出してきたサロクバヤの変遷により、シンガポールの文化の重層性、さらに日本との関わりを示すことができた。

出品点数 136点
 主催 福岡市美術館、シンガポール国立アジア文明博物館
 協賛 アグネス・タン(陳金蕊)(シンガポール)、シンガポール政府観光局、ヘルトランス、ライトエディション
 協力 ワンダー・アジア
 公式航空会社 シンガポール航空
 観覧料 常設展示観覧料
 開催日数 48日間
 観覧者数 11,219人(会期中の常設展観覧者数)

印刷物 【ポスター】B2
 【チラシ】A4
 【図録】B5変形・240頁

展覧会担当：岩永悦子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
4月17日(日)	講演会「サロクバヤ：プラナカンのファッションとアイデンティティ 1600-1950」	14:00～15:30	講師：ピーター・リー(本展ゲストキュレーター)、岩永悦子 参加人数：37人	講堂
4月23日(土)	つきなみ講座「サロクバヤファッションとしてのバティック」	15:00～16:00	講師：岩永悦子 参加人数：13人	教養講座室

クロージング／リニューアル特別企画展

歴史する!Doing history!



ポスターB2



会場風景

会期 平成28年8月2日(火)～8月31日(水)
 会場 特別展示室B、市民ギャラリーABCD、ロビー他
 内容 1979年の開館以降、福岡市美術館がはじめて迎える休館、改修工事というタイミング。このとき何をすべきか、しないのか。あるいは休館前だからこぞできることはないか。このような発想のもと、2016年夏現在の美術館の姿、役割を見つめ、そしてそこから過去と現在を考える展覧会をつくることにした。美術館の歴史、現在、未来をキーワードに、福岡とさまざまに関わり持ってきたアーティスト6名に新作を依頼。40年の時を抱え込む建築空間、記録写真や資料、関わってきた人と今ここを行き交う人たちの声など、当館の歴史をきざむモノ・者たちが出品作品を通して、あるいは展覧会を見という経験を通じて語り出す。本展覧会タイトルは、歴史学者・保苺実(1971-2004)の著作から借用している。

参加作家 飯山由貴、梅田哲也、大木裕之、酒井咲帆+ALBUS、坂崎隆一、田代一倫
 主催 福岡市美術館
 後援 (公財)福岡市文化芸術振興財団、西日本新聞社、西日本イベントサービス
 助成 (公財)朝日新聞文化財団
 観覧料 無料
 開催日数 26日間
 観覧者数 6,576人
 印刷物 【ポスター】B2
 【チラシ】A4台紙+B6冊子
 【DMハガキ】200×148 mm
 【リーフレット/マップ】A3
 【図録】A5判・265頁
 ウェブサイト <http://doing-history.com/>

展覧会担当：正路佐知子

関連イベント

日	イベント名	時間	内容	会場
7月12日(火)～8月31日(水)	reconstruction		美術館の備品を使った変化するインスタレーション 坂崎隆一	福岡市美術館 2階ロビー
①7月23日(土) ②8月4日(木) ③8月31日(水)	撮影ワークショップ：「歴史になるALBUS OFFICIAL CAMERAMAN」	10:00～12:00 10:00～12:00 16:00～18:00	講師：酒井咲帆、正路佐知子	福岡市美術館 ロビー他
7月26日(火)～7月31日(日)	展示作業公開中		展示作業を公開	展示会場
8月2日(火)	オープニングイベント	18:30～19:30	参加作家によるギャラリートーク 講師：大木裕之、田代一倫、酒井咲帆、飯山由貴、坂崎隆一 進行：正路佐知子	展示会場
8月2日(火)	梅田哲也パフォーマンス	20:00～	バックヤードツアー形式のパフォーマンス 梅田哲也、ゲストパフォーマー：篠崎由紀子、miyu	展示会場
8月7日(日)	歴史する！対談 田代一倫×大日方欣一	14:00～15:30	田代一倫、大日方欣一(写真評論家・フォトアーキivist／九州産業大学教授)、進行：正路佐知子	特別展示室B
8月14日(日)、27日(土)	ギャラリートーク	15:00～	学芸員によるツアー形式のギャラリートーク 講師：正路佐知子	展示会場
8月21日(日)	歴史する！トークセッション	14:00～17:00	パネリスト：岸政彦(社会学者／龍谷大学教授*当時)、川端浩平(社会学者／福島大学准教授)、手塚夏子(振付家・ダンサー) 進行：正路佐知子	特別展示室B
8月31日(水)	クロージングイベント×福岡市美術館ラステイ&ナイト手塚夏子ワークショップ「間にあるもの音頭」 山中カメラ「福岡市美術館音頭」	18:15～	※p.12参照	エスプラナード

クロージング／リニューアル関連イベント

憶ひでのポスター展

会 期 平成28年8月2日(火)～8月31日(水)
会 場 2階ロビー通路 ポスター掲示板
内 容 開館から現在まで、数多くの展覧会が開かれてきた。その内容は各展覧会図録に記録されているが、展覧会ごとに制作されてきた広報用のポスターについては、デザインに担当者やデザイナーの熱意が込められているにもかかわらず、回顧されることはまれである。ここでは、通常では他館の展覧会を紹介している掲示版を「会場」として、当館の歴代企画展ポスター展を開催。37点を掲示した。その内容は以下の通り。

●掲出ポスター 37点(年代順)

- 第1回アジア美術展 第2部 アジア現代美術展(1980年)
- 伊藤研之展(1981年)
- パフォーマンス・イン・ビデオ(1981年)
- 藤森静雄展(1982年)
- 実験映画への招待(1982年)
- 藤野一友展(1982年)
- ポルドー美術展(1983年)
- 明日への造形九州 第4回展—<版画の探求>—(1984年)
- 仙厓展(1986年)
- 郷土の前衛写真家たち ソシエテ・イルフ展(1987年)
- 九州派展(1988年)
- ナム・ジュン・パイクのロポト家族(1989年)
- 第3回アジア美術展(1989年)
- 日本の美[琳派](1989年)
- 手塚治虫展(1991年)
- 夏休み子ども美術館 いのりの美・顔いろいろ(1993年)
- 第4回アジア美術展特別部門 リキシャ・ペインティング(1994年)
- 日本美術の中の西洋 安土桃山・江戸のニューアート(1995年)
- 大歌麿展(1998年)
- 織り・染め・縫いの宇宙 インドネシア・スマトラ島の染織(1999年)
- ラファエル・コラン展(1999年)
- 第1回21世紀の作家—福岡 村上勝展(2000年)
- 日本の美 笑い(2000年)
- あなたと作るアート 扇千花 紙で空間をつくるプロジェクト(2001年)
- ナイーヴな絵画展(2002年)
- カンボジアの染織(2003年)
- 大名茶陶 高取焼(2005年)
- 大竹伸朗展—路上のニュー宇宙(2007年)
- 掌のほとけ インドシナ半島の場仏(2008年)
- コレクション／コネクション—福岡市美術館の30年(2009年)
- 菊畑茂久馬回顧展 戦後／絵画(2011年)
- 上田宇三郎展—もうひとつの時間(2013年)
- 想像しなおい(2014年)
- 更紗の時代(2014年)
- 成田亨—美術／特撮／怪獣(2015年)
- アンコール・ワットへのみち(2015年)
- 肉筆浮世絵の世界(2015年)

企画担当：山口洋三



憶ひでのポスター展 会場の様子

対話する！ Dialogue

場 所 カフェテラスなかむら

■第1回

日 時 8月9日(火)18:00～
参 加 者 一般参加者5名／美術館職員5名 計10名
話 題 提 供 山口洋三

■第2回

日 時 8月17日(水)18:00～
参 加 者 一般参加者6名／美術館職員4名 計10名
話 題 提 供 後藤恒

■第3回

日 時 8月20日(土)18:00～
参 加 者 一般参加者2名／美術館職員4名 計6名
話 題 提 供 鬼本佳代子

内 容 福岡市美術館の歴史を振り返るにあたり、美術館職員の視点だけではなく、一般来館者の視点、美術館ボランティアの視点、その他、様々な形で美術館とつながっていた方々の視点から振り返ることを試みた。

リニューアルを機に閉店する「カフェテラスなかむら」にて、思い思いの飲み物を飲みながらリラックスした雰囲気の中、まず学芸員が自らの福岡市美術館との個人的な思いを語った(20分間)。次に、それに呼応して一般参加者の方が、初めて福岡市美術館を訪れた時の思い出や、美術館への思いなどを自由に語った(30分間)。最後に、参加した参加者がそれぞれ短冊に「福岡市美術館への期待」をしたため、お互い披露した(10分間)。

この取組みにより、参加した人にとっては、過去を振り返り、自分と福岡市美術館との関係を再確認し、リニューアルへの期待感を高める機会となった。また、美術館職員にとっては、美術館を訪れる一人ひとりの個人的な思いを聞くことにより、これまで美術館という場所が人々にとってどのような場所であったか、そして、今後、どのような場であるべきかを改めて考える機会となった。

企画担当：吉崎謙作



対話する

クロージングイベント×福岡市美術館ラストデイ&ナイト

日 時：8月31日(水)17:00～19:30

クロージング／リニューアル特別企画展「歴史する！ Doing history！」の企画として「クロージングイベント×福岡市美術館ラストナイト」として構想されていた、パフォーマンス系のワークショップ企画を拡大し、美術館全体の休館前のラストイベントとして「クロージングイベント×福岡市美術館ラストデイ&ナイト」を行った。その中心となるイベントとして、現代音頭作曲家の山中カメラ氏に美術館オリジナルの音頭と踊り(ボンダンス)の制作を依頼し、当日披露し、音頭と踊りのために、現代美術作家の加藤笑平氏と渡邊瑠璃氏が、美術館で用いていた展示台などを使って、エスプラナードに檜を組み上げ、紅白の提灯を飾った。

当日は、夕刻から、1階ロビーにて「お面づくり」のワークショップを開催。さらに、2階ロビーでは、美術館オリジナルグッズが当たる、空クジなしの福引を行い、長蛇の列ができた。閉館まぎわから、舞踊家・振付家の手塚夏子氏のワークショップがはじまり、居合わせた観客とともに言葉や動きをつむぎながら、「間にあるもの音頭」を作りあげた。

その後山中カメラ氏により、「福岡市美術館音頭2016」と、踊りの振付が参加者に伝えられ、練習をしたのちに、数百人の参加者が二重、三重の輪になって音頭にあわせて踊った。音頭の後に館長が挨拶をし、ラストデイ&ナイトの幕を閉じた。イベント参加総数は約400人。特別展の観覧者を含めて当日は約4000人の来館者を得た。休館最後の日を子どもから大人まで、さまざまな方々と過ごし、当館が地域に根ざした美術館であることを実感した日となった。(岩永)

ワークショップ ぬりえでお面づくり

時 間：17:00～18:00

会 場：1階ロビー

参加者数：62人



ワークショップ ぬりえでお面づくり

美術館からのプレゼント

時 間：17:45～18:15

場 所：2階ロビー

手塚夏子と山中カメラ、福岡市美術館×音頭

場 所：エスプラナード

1.手塚夏子ワークショップ「間にあるもの音頭」

講 師：手塚夏子

鍵盤ハーモニカ演奏：大澤寅雄(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室／文化生態観察)

2.山中カメラ「福岡市美術館音頭」

作 者：山中カメラ(現代音頭作曲家)

鍵盤ハーモニカ演奏：長津結一郎(九州大学大学院美術工学研究院助教)

会場設営：加藤笑平(アーティスト)、渡邊瑠璃(アーティスト)

参加者数：約400人



山中カメラ 福岡市美術館音頭

休館のごあいさつ

時 間：19:25～19:30

場 所：エスプラナード

■記念の缶バッジ配布

企画担当：福岡市美術館

展覧会関連記事

特別企画展

物・語 近代日本の静物画		
西日本新聞(朝刊)	H28.4.4	物・語 近代日本の静物画 / 福岡市美術館 / 5月14日から
西日本新聞(朝刊)	H28.5.15	近代日本の静物画魅力に迫る企画展 / 福岡市美術館 / 7月3日まで
西日本新聞(朝刊)	H28.5.17	本社の事業 / 静物画の魅力に浸ろう / ワークショップと講演会 / 福岡市美術館で開催中
西日本新聞(夕刊)	H28.5.21	「物・語 近代日本の静物画」 / 招待券をプレゼント
西日本新聞(夕刊)	H28.5.26	本社の事業 / 静物画90点展示 / 企画展「物・語」 / 7月3日まで / 魅惑的な空気に包まれる
朝日新聞(朝刊)	H28.5.31	「評」美術 福岡市美術館「物・語—近代日本の静物画—」展 / 物が語る言葉に耳を傾け / 田中修二・大分大学教授
西日本新聞(朝刊)	H28.6.4	画家のこだわり 「物・語 近代日本の静物画」から(上) / 「親しみやすさ」が魅力 / 福岡市美術館学芸員・吉田暁子
西日本新聞(朝刊)	H28.6.5	画家のこだわり 「物・語 近代日本の静物画」から(下) / 消えた「手」と「取っ手」 / 福岡市美術館学芸員・吉田暁子
西日本新聞(朝刊)	H28.6.14	展覧会 物・語 近代日本の静物画 / 物言いたげな物たち / 南陽子
読売新聞(朝刊)	H28.6.25	「物・語 近代日本の静物画」 / もの言わぬとも饒舌
和楽	2016年5月号(小学館) p.226	注目の展覧会 / 「物・語—近代日本の静物画—」 / 福岡市美術館

ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡		
西日本新聞(朝刊)	H28.5.29	ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡 / 福岡市美術館 / 7月15日から
西日本新聞(朝刊)	H28.6.16	ゴジラ展 / 福岡市美術館、最後の展覧会 / 7月15日から
毎日新聞(朝刊)	H28.6.17	ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡 / 福岡市美術館 / 7月15日から
西日本新聞(朝刊)	H28.6.21	「ゴジラ展」 / 特撮用スーツなど500点 / 福岡市美術館 / 7月15日から
毎日新聞(朝刊)	H28.6.24	ゴジラ展 / デザイン画、記録写真でたどる62年 / 福岡市美術館 / 7月15日から / 関連イベント
西日本新聞(夕刊)	H28.6.30	本社の事業 / 撮影スーツなど500点 / 福岡市美術館 / 7月15日から
西日本新聞(朝刊)	H28.7.5	福岡市美、休館前最後の特別展 / 九大卒業生がCM監督 / 新時代への再生 ユニーク演出 / ゴジラ 美術館を破壊
西日本新聞(朝刊)	H28.7.6	春秋 / 「ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡」 / 福岡市美術館 / 7月15日から
西日本新聞(朝刊)	H28.7.9	ゴジラ展—大怪獣、創造の軌跡 / 福岡市美術館 / 7月15日から
西日本新聞(朝刊)	H28.7.12	ゴジラ展 / 九州襲撃! 怪獣の悪夢 / 福岡市美術館 / 7月15日から / 上別府保慶
毎日新聞(朝刊)	H28.7.14	ゴジラ福岡襲来 / 福岡市美術館で開幕 / 構想から映画へ500超の資料 / 誕生から62年 大怪獣創作の軌跡 / 関連イベントも満載 / 福岡市美術館学芸員 山口洋三
毎日新聞(朝刊)	H28.7.15	「ゴジラ展」福岡上陸 / 川上珠実
西日本新聞(朝刊)	H28.7.15	ゴジラ展今日開幕 / 特撮技術の世界紹介 / 福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H28.7.17	大怪獣創造 ゴジラ展から(上) / 核の脅威 「G」の衝撃、今も / 大田精一郎
西日本新聞(朝刊)	H28.7.18	大怪獣創造 ゴジラ展から(中) / ライバル 「光と闇」の造形美 / 大田精一郎
西日本新聞(朝刊)	H28.7.21	大怪獣創造 ゴジラ展から(下) / 特撮美術 「大うそ」を現実に / 大田精一郎
毎日新聞(朝刊)	H28.7.26	創造の軌跡「ゴジラ展」より(上) / 精密調査でセット製作 / 福岡市美術館学芸員・山口洋三
毎日新聞(朝刊)	H28.7.28	創造の軌跡「ゴジラ展」より(中) / 昭和の特撮受け継いで / 福岡市美術館学芸員・山口洋三
毎日新聞(朝刊)	H28.7.29	創造の軌跡「ゴジラ展」より(下) / 新時代の怪獣デザイン / 福岡市美術館学芸員・山口洋三
西日本新聞(夕刊)	H28.7.30	ちょっと一息 / 「ゴジラ展」 / 福岡市美術館 / 8月31日まで / 柴田脩平
毎日新聞(朝刊)	H28.7.30	ゴジラ展 / ぶれない咆哮 / 最強フリーク 佐野史郎さんに聞く
毎日新聞(朝刊)	H28.7.31	作り手と時代の熱気 体感 / 福岡市美に怪獣空間 / 東宝特撮もの関連680点
毎日新聞(朝刊)	H28.8.3	ゴジラ展 舞台裏は / 特別バックヤードツアー / タブレット端末手に魅力探る / 山崎あずさ
西日本新聞(朝刊)	H28.8.4	おひとりサマサ / ゴジラよ ポケモンに負けるな / トコ
西日本新聞(朝刊)	H28.8.5	ゴジラ福岡襲来 / 福岡市美術館31日まで開催 / 作品通じて時代見てきた / 俳優・佐野史郎さん
西日本新聞(朝刊)	H28.8.11	ゴジラ展3万人突破 / 福岡市美術館
西日本新聞(朝刊)	H28.8.12	美術監督 三池さん特別講演 / 「シン・ゴジラ」秘話も / 特撮技術の魅力語る
西日本新聞(朝刊)	H28.8.23	気流 / 映画「シン・ゴジラ」の観客動員が好調だ / 福岡市美術館「ゴジラ展」 / 8月31日まで
毎日新聞(朝刊)	H28.8.25	ゴジラ展 / 31日まで 福岡市美術館 / 幅広い世代の来場者 弾む会話
朝日新聞(朝刊)	H28.8.27	ゴジラ大暴れ 大入り5万人 / 福岡市美術館で680点展示、新作追い風 / タワーにも登場、迫力
毎日新聞(朝刊)	H28.8.27	「ゴジラ展」入場者5万人突破
西日本新聞(朝刊)	H28.8.27	ゴジラ展5万人突破 / 福岡市美術館、31日まで
毎日新聞(朝刊)	H28.8.30	ゴジラ展あすまで / 福岡市美術館
wa VOL.70 2016 p.14 (福岡市文化芸術振興財団)		おしゃべりな学芸員 / 福岡市美術館学芸員・山口洋三

常設企画展

サロンクバヤ: シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカンファッション		
西日本新聞(朝刊)	H28.4.17	On Gallery=文化が混じり合う「プラナカン」スタイル / 福岡市美術館 / 4月17日から
読売新聞(夕刊)	H28.4.21	プラナカンのファッションを紹介 / 福岡市美術館 / 6月12日まで
西日本新聞(朝刊)	H28.4.22	文化短信 / 福岡市美術館 / 6月12日まで
茶道の研究 2016年10月号 731号(三徳庵発行) p.54~55		プラナカンとジャワ更紗 / 五島美術館学芸員・佐藤留美

クロージング／リニューアル特別企画展

歴史する!Doing history!		
読売新聞(朝刊)	H28.8.20	福岡市美術館 歴史素材に／休館前6人の作家が企画展／白石知子
毎日新聞(朝刊)	H28.8.21	日曜カルチャー／福岡市美「歴史する!Doing history!」展／異例の規模で気鋭6人の思索／渡辺亮一
西日本新聞(朝刊)	H28.8.23	福岡市美術館「締め、の現代美術展／人とモノが交錯する場を「振り返る」／北里晋
西日本新聞(朝刊)	H28.8.26	過去、現在、未来 写真や映像で表現／市美術館、休館前に企画展
毎日新聞(朝刊)	H28.12.25	美術／「石橋」を継承 久留米市美
クリム 2016年8月号(生活協同組合連合会コープ九州事業連合発行)		40年の感謝と次のステージに期待／『クロージング／リニューアル特別企画展 歴史する!Doing history!』(木下貴子)
月刊ギャラリー2016 VOL.8 p.58(ギャラリーステーション発行)		歴史、現在、未来について考える
『民族芸術』vol.33、2017年、pp.256-257(民俗芸術学会)		竹口浩司評「未来をともにつくるために」
『日本写真年鑑 写真いま、ここに 2017』日本写真協会、2017年6月発行、p.165		12氏の「2016写真ベスト3」大日方欣一選

クロージング／リニューアル関連イベント

クロージングイベント×福岡市美術館ラストデイ&ナイト		
西日本新聞(朝刊)	H28.8.27	文化短信／福岡市美術館／8月31日
毎日新聞(朝刊)	H28.8.27	リニューアル休館前の31日／福岡市美術館でラストイベント／山崎あずさ
朝日新聞(朝刊)	H28.9.1	「美の空間」改修へ しばしの別れ／福岡市美術館 休館イベント盛況／「作品保存へ再生した姿見て」
西日本新聞(朝刊)	H28.9.1	福岡市美術館、休館イベント／「2年半後にまた会いましょう」
毎日新聞(朝刊)	H28.9.1	福岡市美術館きょうから休館／2年半の別れ惜しむ／最終日は4000人が来場／山崎あずさ
読売新聞(朝刊)	H28.9.1	福岡市美術館 ラスト催し／2年半休館 踊りやグッズ贈呈

特別協力

夢の美術館—めぐりあう名画たち—		
西日本新聞(夕刊)	H28.12.17	名画69点 夢のコラボ／福岡、北九州市の美術館貸出／長崎など6館で巡回展
西日本新聞(朝刊)	H28.12.21	沖縄で「夢の美術館」開幕／平成29年2月5日まで
西日本新聞(朝刊)	H29.1.11	名画69点 夢のコラボ 福岡、北九州市の美術館貸出 宮崎など6館で巡回展／九州ワイド
西日本新聞(朝刊)	H29.1.31	北九州市美、福岡市美の収蔵品展「夢の美術館」展 沖縄、長崎、熊本など各地巡回／夢よ覚めずに…再開後の常設展へ期待
西日本新聞(朝刊)	H29.2.1	夢の美術館／長崎県立美術館／平成29年2月23日から4月2日まで
西日本新聞(朝刊)	H29.2.20	長崎雑記／「夢の美術館」の画家たち
西日本新聞(朝刊)	H29.2.28	響き合う名画と画家 夢の美術館から(1)美術史彩る名画ずらり
西日本新聞(朝刊)	H29.3.1	響き合う名画と画家 夢の美術館から(2)近代日本洋画の父誕生
西日本新聞(朝刊)	H29.3.2	響き合う名画と画家 夢の美術館から(3)真の芸術家たらんとす
西日本新聞(朝刊)	H29.3.3	響き合う名画と画家 夢の美術館から(4完)九州は画家の「名産地」
読売新聞(朝刊)	H29.3.3	2美術館の名画「共演」／長崎 モネの睡蓮など68点
西日本新聞(朝刊)	H29.3.6	県内の学芸員らが座談会／「夢の美術館」開催の長崎で
西日本新聞(朝刊)	H29.3.8	長崎で「夢の美術館」／ルノワール、魁夷、有名画家並ぶ

リニューアル中の作品展示実績

リニューアル休館中に作品保管を依頼している施設において、下記の通り展示公開を行った。また、北九州市立美術館と共に所蔵品巡回展「夢の美術館」展を下記の通り開催した。

・九州国立博物館

当館所蔵の古美術作品、近現代美術作品の一部を預託。平成28年度の展示実績は次の通り。

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会期
陶磁		禾目天目茶碗・盃台	20-Ha-149	高麗と朝鮮の美術	平成29年1月17日～4月16日
絵画	崔奭煥筆	葡萄図屏風	14-B-14		平成29年1月1日～2月12日
絵画	作者不詳	茄子双鳥図	14-B-15		
絵画	伝申師任堂筆	山水行旅図	14-B-22		
絵画	伝胡直夫筆・偃谿 広間賛	布袋図	6-B-3	將軍様の宝もの「唐物」1	平成29年1月17日～2月26日
絵画	祥啓筆	真山水図	6-B-22	將軍様の宝もの「唐物」2	平成29年2月28日～4月9日
陶磁		三彩駱駝	20-Ha-91	シルクロードの歴史	平成29年3月14日～3月31日
陶磁		加彩十二生肖	20-Ha-93		
陶磁		黒褐釉睡壺	20-Ha-104		
陶磁		紋胎合子	20-Ha-120		

・九州歴史資料館

当館所蔵の東光院仏教美術資料・近現代美術作品の一部を預託。平成28年度の展示実績は次の通り。

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会期
彫刻	佐田亦四郎朝桜(? ～1713)	十二神将立像 安底羅大 将・申神	5-G-7-9	新春酉歳企画「鳥」	平成29年1月5日～2月19日
彫刻	佐田亦四郎朝桜(? ～1713)	十二神将立像 迷企羅大 将・酉神	5-G-7-10		
彫刻		十二神将立像 伐折羅大 将・戌神 (重要文化財)	5-G-7-11		

・福岡アジア美術館

当館所蔵の近現代美術作品の一部を預託。平成28年度の展示実績は次の通り。

種別	作家名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会期
油彩等	ザオ・ウーキー	僕らはまだ二人だー10.3.74	3-A-39	アニッシュ・カプーアとイン ドのカタチ展	平成28年1月2日～5月9日
彫刻	アニッシュ・カプー ア	無題	3-D-13		
		無題	3-D-14		
		無題	3-D-15		
		無題	3-D-16		
		無題	3-D-17		
		無題	3-D-18		
		無題	3-E-413		
		無題	3-E-414		
		虚ろなる母	3-G-27		
油彩等	ナム＝ジュン・パイ ク	冥王星人	3-A-42	アート横断V 創造のエコ ロジー	平成29年2月18日～3月21日
油彩等		メディア・スタディ	3-A-200		

・夢の美術館—めぐりあう名画たち—

福岡市美術館、北九州市立美術館による所蔵品巡回展。福岡市美術館所蔵の近現代美術作品39点を展示。

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
油彩等	黒田 清輝	婦人像	1-A-37	「夢の美術館—めぐりあう名画たち—」	沖縄県立博物館・美術館	平成28年12月20日～平成29年2月5日
油彩等	古賀 春江	生誕	1-A-38			長崎県美術館
油彩等	児島 善三郎	鏡	1-A-40			
油彩等	坂本 繁二郎	大島の一部	1-A-43			
油彩等	織田 廣喜	黒装	1-A-172			
油彩等	菊畑 茂久馬	ルーレット No.1	1-A-197			
油彩等	吉田 博	溪流	1-A-218			
油彩等	藤島 武二	イタリア婦人像	1-A-243			
油彩等	オチ オサム	球の遊泳II	1-A-259			
油彩等	青木 繁	秋声	1-A-288			
油彩等	桜井 孝身	リンチ	1-A-353			
油彩等	田部 光子	魚族の怒り	1-A-355			
油彩等	野見山 暁治	人間	1-A-486			
油彩等	柳 幸典	二つの中国	1-A-617			
彫刻等	村上 勝	紅い羽状	1-G-50			
油彩等	佐伯 祐三	街	2-A-29			
油彩等	松本 竣介	彫刻と女	2-A-39			
油彩等	三岸 好太郎	海と射光	2-A-40			
油彩等	元永 定正	作品	2-A-70			
油彩等	藤野 一友	抽象的な籠	2-A-78			
油彩等	辰野 登恵子	UNTITLED 94-9	2-A-143			
写真	やなぎ みわ	Eternal City I	2-F-398			
油彩等	ルイ＝ジョゼフ ＝ラファエル・コ ラン	若い娘	3-A-2			
油彩等	ジャン・デュ ビュッフェ	もがく	3-A-3			
油彩等	ルチオ・フォンタ ナ	空間概念 期待	3-A-5			
油彩等	レオナルド・フ ジタ(藤田嗣 治)	仰臥裸婦	3-A-6			
油彩等	ロイ・リキテン シュタイン	雲のある海景	3-A-9			
油彩等	ジョアン・ミロ	ゴシック聖堂でオルガン 演奏を聞いている踊り子	3-A-10			
油彩等	フランク・ステラ	バスラ門 II (分度器シ リーズ)	3-A-13			
油彩等	マーク・ロスコ	無題	3-A-30			
油彩等	イヴ・クライン	人体測定 (ANT 157)	3-A-43			
油彩等	ポール・デル ヴォー	夜の通り (散歩する女た ちと学者)	3-A-46			
油彩等	マルク・シャガ ール	空飛ぶアトラージュ	3-A-87			
油彩等	アンディ・ウォ ーホル	エルヴィス	3-A-98			
油彩等	サルバドール・ ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405			
油彩等	A.R.ベンク	シュタンダルト3	3-A-406			
油彩等	アントニ・タビ エス	絵画 No.XXVIII	3-A-408			
油彩等	平野 遼	焦土の眼	16-A-11			
油彩等	ベルナルド・ ビュッフェ	静物	16-A-44			

こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解出来るよう、ボランティアのギャラリートークなどを行っている。平成28年度はリニューアル改修工事による休館のため4月から8月までの期間で実施。

■市内の小・中学校等に対するギャラリートัวร์（スクールツアープログラム）

平成28年

4月26日(火)東住吉中学校※ 1年生	生徒97人	引率9人
5月24日(火)東福岡自彊館中学校 1-2年生	生徒146人	引率14人
7月2日(土)高宮中学校美術部 1-3年生	生徒13人	引率2人
7月7日(木)和白丘中学校※ 1年生	生徒289人	引率12人

※は体験学習による来館校

計 団体数4件 児童・生徒数545人 引率数37人

読書室企画

来館者に美術に関する知識や興味をより深めてもらえるよう、読書室の一角に当館開催の展覧会等に関する資料の特集を行った。

1. 常設展関連図書特集

常設展示室での各展示に関連した図書を集めた。

2. 特別展関連図書特集

- ・平成28年5月14日(土)～7月3日(日) 「物・語 ^{ものごたひ} ー近代日本の静物画ー」関連
- ・平成28年7月15日(金)～8月31日(水) 「ゴジラ展 ^{あしあと} ー大怪獣、創造の軌跡ー」関連

3. 読書室企画図書特集

- ・本と出会えるミュージアム2016

会期：平成28年4月19日(火)～5月22日(日)

会場：読書室、キッズコーナー

内容：4月23日の「子ども読書の日」にちなみ、美術館・アジア美術館・博物館の3館において、ミュージアムにおける子どもの読書活動と学びの推進に資する事業を共同で行った。

読書室では「美術を楽しむ本」と題して、美術や美術館を主題とした本の中から、楽しみながら美術に触れられるような本を12冊特集した。

キッズコーナーでは「作家とアートな絵本」と題して、展示室に親しんでもらうことを考え、所蔵作品が掲載された絵本や所蔵作家が作成した絵本など10冊を特集した。

- ・美術館おすすめ本

会期：平成28年7月20日(水)～8月31日(水)

会場：読書室

内容：夏休みこどもおとな美術館の中のプログラムとして実施。館長、副館長、学芸課職員が、夏休みに読むと良い図書を大人向けと子ども向けにそれぞれ選書すると共に推薦コメントも書き、それを帯に印刷して各図書に付けて特集した(合計62冊)。

つきなみ講座

美術館の仕事と美術のさまざまな側面を知ってもらうため、月1回、美術館職員が自身の研究・業務内容、特定のテーマ等について講義を行った。休館後は福岡市博物館または福岡アジア美術館にて開催した。

第1回 サロンクバヤーファッションとしてのバティック

講師：岩永悦子 開催日：平成28年4月23日(土) 15:00~16:00 会場：教養講座室 参加者数：13人

第2回 近代・日本・静物画―「^{ものがたり}物・語」展を楽しむために

講師：吉田暁子 開催日：平成28年5月28日(土) 15:00~16:00 会場：教養講座室 参加者数：32人

第3回 「TRACES | 轍」展をめぐるあれこれ

講師：正路 佐知子 開催日：平成28年6月25日(土) 15:00~16:00 会場：教養講座室 参加者数：11人

第4回 「？」から始まる美術鑑賞―夏休み子どもおとなも美術館より

講師：土橋 佳那子 開催日：平成28年7月30日(土) 15:00~16:00 会場：教養講座室 参加者数：8人

第5回 「つきなみ講座特別編」なぜ美術館でゴジラ展、なのか？

講師：山口洋三 開催日：平成28年8月13日(土) 15:00~16:30 会場：講堂 参加者数：73人

第6回 福岡市美術館のリニューアル

講師：中山喜一郎 開催日：平成28年9月17日(土) 15:00~16:00 会場：福岡市博物館・講座室2
参加者数：20人

第7回 「重要文化財」ってなに？―文化財保護法のあゆみ

講師：後藤恒 開催日：平成28年10月15日(土) 15:00~16:00 会場：福岡アジア美術館・あじびホール
参加者数：13人

第8回 ニューヨーク ちょっとマニアックな(?)ミュージアム巡り

講師：鬼本 佳代子 開催日：平成28年11月19日(土) 15:00~16:00 会場：福岡市博物館・講座室2
参加者数：35人

第9回 福岡市美術館の黒田資料―近世に華開いた王朝文化

講師：宮田太樹 開催日：平成28年12月17日(土) 15:00~16:00 会場：福岡市博物館・講座室2
参加者数：24人

第10回 福岡市美術館の仏教美術―仏画の表現

講師：錦織亮介 開催日：平成29年1月21日(土) 15:00~16:00 会場：福岡アジア美術館・あじびホール
参加者数：52人

第11回 「どこでも美術館」で館外へ!―リニューアル休館中の活動報告

講師：崎田明香 開催日：平成29年2月18日(土) 15:00~16:00 会場：福岡アジア美術館・あじびホール
参加者数：23人

第12回 ラファエル・コラン《海辺にて》引越大作戦!

講師：渡抜由季 開催日：平成29年3月18日(土) 15:00~16:00 会場：福岡市博物館・講座室2
参加者数：32人

参加人数 計336人

福岡ミュージアムウィーク2016

博物館・美術館の役割を広く多くの方々に知っていただくために制定された「国際博物館の日」(5月18日)を記念して、福岡市内の14館が連携し、様々なイベントを通して「出会いの場」、「知識の場」、「発見の場」である博物館・美術館をアピールする事業。

連携館：福岡市博物館・福岡市美術館・福岡アジア美術館・福岡県立美術館・福岡市埋蔵文化財センター・「博多町屋」ふるさと館・はかた伝統工芸館・王貞治ベースボールミュージアム・九州大学総合研究博物館・九州産業大学美術館・西南学院大学博物館・アートギャラリー 三菱地所アルティウム・能古博物館・福岡市動植物園

期間：平成28年5月14日(土)～5月22日(日)

■常設展観覧料無料

観覧者数：3,476人(期間中の常設展示室入場者数)

■スタンプラリー

参加館14館のうち2館分のスタンプを集めて応募した人の中から抽選で特別展観覧券などの賞品を贈呈した。

■福岡市美術館クローズingtークショー 「これからの美術館」

登壇者：逢坂恵理子(横浜美術館館長)、藤浩志(アーティスト、秋田公立美術大学教授)、中村政人(アーティスト、アーツ千代田3331総括ディレクター)

進行：岩永悦子

日時：5月21日(土)14:00～16:30

会場：1階講堂

定員：240人

聴講者数：200人

主催：福岡市美術館／福岡アートミュージアムパートナーズ／西日本新聞社

■「物・語」展ギャラリートーク p.5を参照

■森で遊ぶマントをつくろう～そしてお散歩に出かけよう!

講師：オーギカナエ(アーティスト)

日時：5月15日(日)10:30～12:00

場所：2階 キッズコーナー 森のたね

対象：2歳から小学生の児童とその保護者

参加者数：8組20人

■建築ツアー

日時：5月14日(土)、22日(日)10:30～12:00、13:30～15:00

集合場所：1階ロビー

定員：各回20人

参加者数：80人

■福岡市美術館ハイライトツアー

日時：5月14日(土)、15日(日)、17日(火)～22日(日)

11:00～、14:00～(各回40分程度)

集合場所：1階ロビー

参加人数：138人

■ミニミニワークショップ

講師：オーギカナエ

日時：5月17日(火)～5月20日(金) 10:30～14:30

場所：2階 キッズコーナー 森のたね

対象：未就学児童

参加者数：子ども44人 大人48人

※夏休み子どももおとなも美術館の期間中に展示を行った「未来のたね」の制作のために、オーギカナエが参加者にインタビューを行った。



建築ツアーの様子

夏休み子どもおとなも美術館

子どもたちに当館の所蔵品に親しみ、美術に接してもらうため、展示やワークショップ、ギャラリートーク等を組み合わせた複合的な教育普及プログラムとして「夏休み子ども美術館」を毎夏実施している。平成28年度は、休館直前ということもあり、対象を子どもから大人までとし、毎年11月に実施しているファミリーDAYと3月に実施しているいきヨウヨウ講座を前倒しし、本期間中に行った。常設展示を楽しむための鑑賞用ツールを貸し出したほか、キッズコーナーでの参加型作品の展示、読書室での学芸員おすすめ本の紹介、ボランティアによるギャラリートークを実施した。

期 間：平成28年7月20日(水)～8月31日(水)

印刷物：ワークシート(A3二つ折り)
チラシ(A4)

■アート特別調査員

常設展示を楽しんでもらうための鑑賞用ツール「リサーチバッグ」を貸し出し、ワークシート配布。貸し出しは、当館ボランティア及びボランティアOBが行った。

期 間：平成28年7月20日(水)～8月31日(水)

参加者数：988人

企画担当：土橋佳那子

■オーギカナエ 未来のたねへ

「キッズコーナー森のたね」をデザインしたオーギカナエによる参加型作品を、2階ロビーに展示。作品には、ミュージアムウィーク中に行われたインタビューによる来館者の言葉が使われた。また、参加者がリボンをつけることで、毎日変化するという作品であった。

展示期間：平成28年7月20日(水)～8月31日(水)

展示場所：2階ロビー キッズコーナー 森のたね周辺

企画担当：中原千代子・鬼本佳代子

■ギャラリートัวร์特別編

ボランティアによるギャラリートัวร์。単眼鏡を使って、作品の詳細を観察した。11:00からは子ども向け、14:00からは大人向けに実施。

日 時：8月16日(火)～28日(日)

11:00～こどものツアー

14:00～おとなのツアー(各回30分程度)

場 所：常設展示室(集合は1階ロビー)

参加者数：191人

企画担当：崎田明香

■えがこう!大濠公園のカタチ

「いきヨウヨウ講座」の代わりとして実施。ただし、さまざまな年代の人々が交流できるように特に対象年齢を設定せず行った。大濠公園で見られるモチーフや当館の作品をモデルにした型をつくり、ステンシル版画の要領で1階常設展示横のガラス窓に、色とりどりの形を描き出した。なお、九州大学、西南学院大学、福岡教育大学の学生がスタッフとして活躍した。

図案・型紙作成・スタッフ指導：御笹朋子(アーティスト)

日 時：8月2日(火) 準備日

8月3日(水)～7日(日) 10:00～14:30 ワークショップ
実施

場 所：1階常設展示室入り口前

参加者数：402人

企画担当：ギャレット三宅万里子

■ファミリーDAY

毎年11月に開館記念日を含む3日間で実施している親子向けの教育普及事業ファミリーDAYを、夏休み期間中に行った。なお、本活動でも、「えがこう!大濠公園のカタチ」と同様、九州大学、西南学院大学、福岡教育大学の学生がスタッフとして活躍した

日 時：8月7日(日)10:30～14:30

実施ワークショップ：

・べつの顔に変身!マスクをつくろう!

当館の作品を素材にした塗り絵を、お面にするというもの。

場所：1階ロビー

・ミニミニワークショップ

タネ型の箱にさまざまな素材が入っており、参加者にはその中から3つをくじ引きのように引き出してもらう。その3つの素材を使って「森の仲間」をつくる。未就学児童対象。

場所：キッズコーナー 森のたね

・キミは名探偵!美術館最後のナゾ

ワークシートに書かれたクイズを、作品を鑑賞しながら解いていくというもの。

場所：常設展示室(受付は2階ロビー)

参加者数：234人

企画担当：崎田明香

■美術館のおすすめ本

学芸員らが選んだ、子どもと大人に向けての推薦図書を展示した。各図書に推薦理由等を書いた帯をつけた。

期 間：7月20日(水)～8月31日(水)

場 所：読書室

※p.17参照



えがこう!大濠公園のカタチ

どこでも美術館

休館中のアウトリーチ活動として、学校や公民館、病院等で作品鑑賞や美術体験ができる道具を制作。平成28年度は「絵画・彫刻ボックス」「やきものボックス」「染め・織りものボックス」を制作し、実験的に市内小学校4校と市内中学校2校でアウトリーチプログラムを実施した。

■学校等施設での実施

実施日程	実施校	学年等	人数
11月25日(金)	彦岐小学校	5年生	150
12月2日(金)	南当仁小学校	5年生	88
12月20日(火)	北崎中学校	1年生	16
1月11日(水)	福岡雙葉小学校	1年生	88
2月27日(月)	花畑中学校	1年生	152
2月28日(火)			
3月2日(木)			
3月3日(金)	愛宕小学校	5年生	109
3月25日(土)	どこでも美術館がやってきた(なみきスクエア)	主に未就学児と保護者	43*
		合計	646

※どこでも美術館の道具を使ったものみの参加人数

■どこでも美術館事業で制作した美術体験ボックス

[絵画・彫刻ボックス]

内 容:

- ・マルク・シャガール《空飛ぶアトラージュ》複製、演示具
- ・《韃靼人狩猟図屏風》複製、梱包用布
- ・藤浩志《ヤセ犬》実物資料

[やきものボックス]

内 容:

《初期伊万里 染付釣り人物図皿》複製、《絵唐津秋草文向付》複製、現川焼、色絵皿、陶片、陶土、粘土、釉薬

[染め・織りものボックス]

内 容:

カンガ、蚕の繭、綿、絹糸、綿糸、天然染料で染めた絹糸、天然染料、ルーペ

■どこでも美術館がやってきた!inなみきスクエア

休館中事業として、市の施設である「なみきスクエア」にて、主に未就学児童とその保護者に向けて、複数のワークショップを実施した。なお、本活動には、福岡教育大学の学生が、ボランティアスタッフとして参加した。

日 時:平成29年3月25日(土)10:30~15:00

場 所:なみきスクエア 1階 ひまわり広場(福岡市東区)

実施ワークショップ:

- ・べつ顔に变身!マスクをつくろう!
当館の作品を素材にした塗り絵を、お面にするというもの。

・ミニミニワークショップ

タネ型の箱にさまざまな素材が入っており、参加者にはその中から3つをくじ引きのように引き出してもらい、その3つの素材を使って「森の仲間」をつくる。未就学児童対象。

・どこでも美術館 ヤセ犬をつくろう

どこでも美術館事業で制作した彫刻・鑑賞ボックスのうち、藤浩志制作の《ヤセ犬》を鑑賞し、参加者の思うヤセ犬を紙で制作してもらうというもの。

・どこでも美術館 布を着てみよう!

アフリカの布・カンガをオリジナルの着こなしで楽しんでもらうというもの。

参加者数:174人



やきものボックスを使用した小学校での鑑賞活動

ボランティア活動

当館では、昭和51年にボランティアを募集し、昭和54年の美術館開館と同時に活動を開始した。現在、ギャラリーガイドボランティア、新聞情報ボランティア、図書整理ボランティア、美術家情報整理ボランティアが曜日毎にグループを形成し、活動している。9月の休館以降は、ギャラリーガイドボランティアは月1回ミーティングを行い、他のボランティアについては、土曜日は月1回の活動となったが、変わらず活動を行っている。

平成28年度の登録人数

計	ギャラリーガイド	新聞情報	図書整理	美術家情報整理
136	62	40	21	13

■総会

日 時：平成28年5月9日(月) 14:00～15:30

場 所：1階講堂

参加人数：56人

■ボランティア対象座談会

日 時：平成28年5月9日(月)15:30～16:30

場 所：1階教養講座室

ファシリテーター：吉崎謙作

参加人数：42人

■館外研修

日 時：10月30日(日)

訪問場所：熊本市現代美術館

「くまもとよかとこ案内人の会」による熊本城外回りツアー

参加人数：28人

日 時：平成29年3月8日(水)

訪問場所：長崎県美術館

参加人数：20人

※長崎県美術館での「夢の美術館」展開催をきっかけに、長崎県美術館よりボランティア交流会の提案があり、実施した。



熊本市現代美術館でのボランティア交流

■ボランティア交流会

日 時：12月9日(金)

参加者：16人(うちOBが3人)

ギャラリーガイドボランティア

[活動内容] ※平成28年度はリニューアル改修工事による休館のため4月から8月までの期間で実施。

■ギャラリーツアー

開館日の午前11時と午後2時に40分程度、当館の所蔵作品を紹介するギャラリーツアーを実施している。ボランティアは、自ら決めたテーマに沿って常設展示室の展示作品から3点を選び、参加者との対話を重視しながら鑑賞活動を行う。参加は無料。

※5月14日～22日「福岡ミュージアムウィーク2016」の期間は代わりにハイライトツアーを実施。また8月16日～8月28日は「夏休みこどもおとなも美術館2016」期間中に「ギャラリーツアー特別編」を開催したため休止。

参加延べ人数：257人

■ギャラリーツアー for キッズ!

平成20年度より始まったこどもを対象とした常設展示ギャラリーツアー。毎月第2土曜日、第2日曜日の午後2時から実施。ボランティアが自ら決めたテーマに沿って3点を選び参加者に紹介する。基本的な構成はギャラリーツアーと同様。

※「夏休みおとなもこども美術館2016」期間中の8月16日～8月28日は「ギャラリーツアー特別編」のため休止。

■団体向けツアー

上記ギャラリーツアー以外に、申込みいただいた団体へのギャラリーツアーを行っている。参加団体は以下の通り。なお、市内学校団体向けのツアーは「こどもアートアドベンチャー」の項目(p.17)を参照のこと。

平成28年

4月 2日(土)	細川様ご一行(石橋美術館ボランティア)	一般11人	
4月23日(土)	西南学院大学博物館実習受講生	生徒23人	引率1人
4月29日(金・祝)	九州大学芸術工学部「芸術文化環境論」学外演習	生徒124人	引率3人
5月 8日(日)	九州大学博物館教育論受講生	生徒48人	引率1人
6月 4日(土)	西南学院大学	生徒22人	引率1人
6月14日(火)	飛鳥未来高等学校福岡キャンパス 1-3年生	生徒9人	引率1人
8月18日(木)	福岡県立京都高等学校PTA	一般31人	
8月20日(土)	社会保険労務会 福岡支部	一般22人	児童5人

計 団体数8件 総計302人

新聞ボランティア

[活動内容]

基本的に日曜日・金曜日を除く毎日、曜日毎に担当する新聞を決め、新聞の切り抜き及びファイル作業などを行う。

- 月曜日：毎日新聞
- 火曜日：読売新聞
- 水曜日：西日本新聞
- 木曜日：朝日新聞
- 土曜日：日経新聞

月に1回共同作業日を設け、各グループ間での情報交換・意志の統一を図る。訃報記事の整理作業は、月末に各曜日持ち回りで行う。平成14年度から始めた、新聞切り抜きのなかから特に興味深い記事をピックアップしてまとめる「おすすめ新聞美術記事」を、今年度もほぼ月1回のペースで作成した(ただし第171号は休刊)。

平成28年

- 4月 9日(土) 共同作業 2月分記事チェック、ファイル(参加 3名)
- 4月21日(木) 木曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第163号作成
- 4月30日(土) 訃報記事整理(参加2名)
- 5月 9日(月) 共同作業 3月分記事チェック、ファイル(参加7名)
- 5月28日(土) 土曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第164号作成
- 5月30日(月) 訃報記事整理(参加5名)
- 6月14日(火) 共同作業 4月分記事チェック、ファイル(参加6名)
- 6月27日(月) 月曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第165号作成
- 6月28日(火) 訃報記事整理(参加7名)
- 7月13日(水) 共同作業 5月分記事チェック、ファイル(参加4名)
- 7月26日(火) 火曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第166号作成
- 7月27日(水) 訃報記事整理(参加5名)
- 8月18日(木) 共同作業 6月分記事チェック、ファイル(参加7名)
- 8月24日(水) 水曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第167号作成
- 8月25日(木) 訃報記事整理(参加2名)
- 9月10日(土) 共同作業 7月分記事チェック、ファイル(参加3名)
- 9月24日(土) 訃報記事整理(参加2名)
- 9月29日(木) 木曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第168号作成
- 10月17日(月) 共同作業 8月分記事チェック、ファイル(参加6名)
- 10月29日(土) 土曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第169号作成
- 10月31日(月) 訃報記事整理(参加3名)
- 11月 8日(火) 共同作業 9月分記事チェック、ファイル(参加6名)
- 11月28日(月) 月曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第170号作成
- 11月29日(火) 訃報記事整理(参加5名)
- 12月14日(水) 共同作業 10月分記事チェック、ファイル(参加4名)
- 〃 訃報記事整理(参加4名)

平成29年

- 1月19日(木) 共同作業 11月分記事チェック、ファイル(参加6名)
- 1月25日(水) 水曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第172号作成
- 1月26日(木) 訃報記事整理(参加4名)
- 2月18日(土) 共同作業 日経新聞記事チェック、ファイル(参加10名)
- 2月23日(木) 木曜グループ 「おすすめ新聞美術記事」第173号作成
- 2月27日(月) 訃報記事整理(参加3名)
- 3月18日(土) 共同作業 日経新聞記事チェック、ファイル(参加5名)
- 3月28日(火) 訃報記事整理(参加6名)

図書整理ボランティア

基本的に火曜日から土曜日までの各曜日午前と午後の班に分かれ、資料整理業務に関する作業を行った。

[活動内容]

■目録カード整理

目録カードに標目を記載する。
分類変更分の各目録カードに分類番号と図書記号を書き込む。

■パンフレット資料整理

作家に関するパンフレット資料への受付印の押印、資料保存用の袋および検索用カードを作成する。

■広報誌整理

他機関発行の広報誌を綴じる作業、および広報誌を綴じておくファイルを作成する。

■雑誌記事整理

雑誌に掲載されている美術関係の記事内容を種別する。
福岡市美術館の所蔵品、施設、展覧会に関する雑誌掲載記事索引ファイルを作成する。

■紀要・年報類の受入

ラベルに該当する機関コードを記入し、資料に添付する。
資料を書架に配架する。

■書架整理

書架の本を順番通りに並べる。
古くなった資料保存用の袋を新しいものに作り替える。

■パソコン入力

図録に掲載されている作家名をパソコンに入力する。また、入力された情報が正しいかどうかチェックする。
所蔵している雑誌の情報をパソコンに入力する。

■蔵書点検

本が書架の定位置にあるか点検する。

美術家情報整理ボランティア

[活動内容]

休館中仮事務所への移転作業のため、平成28年12月～平成29年1月まで活動休止し、平成29年2月6日から活動再開した。

- ①美術家による活動についてのDM(ダイレクトメール)を内容別に分類し、作家名、展覧会(イヴェント)名、会期、会場名等の基本情報をデータベース化している。平成29年7月18日現在で20152件のデータを入力済み。
- ②データ入力の済んだDMを整理し、保管する。休館中仮事務所での作業のため、保管されたDMの封筒変更作業は休止し、優先的に入力するよう予め選別したDMと、仮事務所に郵送されたDMの入力を行った。

[活動日]

月～金曜日。各曜日で午前と午後の各班にて作業を行う。

月に1度合同作業日を設け、蓄積されたDMを効率的に収納するため、DM保存用の封筒のサイズ 交換作業を行う。年に数回、合同作業日に全体ミーティングを行い、活動内容の確認や意見交換を行った。

出版物

■展覧会図録

名称	規格	頁数	編集・発行
サロンクバヤ シンガポール 麗しのスタイル つながりあう世界のプラナカン・ファッション	B5変形	240	福岡市美術館(岩永悦子、宮田太樹)、シンガポール国立アジア文明博物館(ジャッキー・ユーン、ン・ワングイ)、ピーター・リー編集、バブ発行、ISBN 978-4-907180-50-8
物・語 近代日本の静物画	B5	160	福岡市美術館(吉田暁子)編、株式会社求龍堂発行、ISBN 978-4-7630-1615 C0071
歴史する! Doing history!	A5	265	福岡市美術館(正路佐知子)編集、福岡市美術館発行

■クロージング記録集

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 クロージング/リニューアルプロジェクト2016 について語る。	B5	128	平成29年3月31日

■夏休み子どもおとなも美術館 リーフレット

名称	規格	頁数	発行日
アート特別調査員「調査報告書」ワークシート	A4	4	平成28年7月20日

■福岡市美術館活動の記録

名称	規格	頁数	発行日
平成27年度 福岡市美術館活動の記録	A4	50	平成29年1月16日

■研究紀要

名称	規格	頁数	発行日
福岡市美術館 研究紀要 第5号	A4	56	平成29年3月31日

※p.30参照

■福岡市美術館 季刊誌 エスプラナード

No.	内容	規格	頁数	発行日
183	特集：「美術館で恋してる」 初めての美術館デート虎の巻[後藤恒]／とりとめなさについて「物・語-近代日本の静物画-」展から[吉田暁子]／美術館と恋から遠くない場所で[吉田暁子]／とある美術館の学芸課長の恋がたり[岩永悦子]／特別寄稿：わたしはすべてを失った-松虫草の花言葉と実らぬ恋の物語[高山百合(福岡県立美術館)]／展覧会スケジュール4月～6月／つきなみ講座情報／わたくし的、所蔵品紹介：今泉憲治《Elephant Accident'85B》[神保明香]／スタッフ・ルーム(4コマ漫画「恋ってな～に?」[土橋佳那子]／おすすめの一冊[正路佐知子]／つぶやき)／編集後記[吉田暁子]	A5	16	平成28年 4月 1日
184	編集前記[後藤恒]／変えるもの、変えないもの[岩永悦子]／福岡市美対ゴジラ[中山喜一郎・山口洋三]／Doing history![正路佐知子]／This Is Our Collection/これがわたしたちのコレクション[吉田暁子]／わたくし的、所蔵品紹介《鉄絵魚文壺》[後藤恒]／夏休みこどもおとな美術館[土橋佳那子]／「どこでも美術館」やります[鬼本佳代子]／建物はどう変わるの?[山下毅]／休館中なにしているの?[渡抜由季]／写真撮影ができます[宮田太樹]／4コマ漫画「市美のボランティアさんとリニューアルの巻」[崎田明香・作、土橋佳那子・絵]／つぶやき／つきなみ講座情報／展覧会スケジュール7月～8月	A5	16	平成28年 7月 1日
185	特集：「クロージング／リニューアル」 手塚夏子ワークショップ「間にあるもの音頭」[正路佐知子]／山中カメラ「福岡市美術館音頭2016」[岩永悦子]／「これからの美術館」福岡市美術館クロージングトークショー／4コマ漫画「仙厓さんの絶筆4連発」[正路佐知子・作、後藤恒・絵]／所蔵品紹介：仙厓義梵《絶筆の碑図》[宮田太樹]／インタビュー「未来のたねへ」オーギカナエ[聞き手：鬼本佳代子]／所蔵品の他館における公開情報／つきなみ講座情報／編集後記[正路佐知子]	A2 十字折	4	平成28年10月 1日
186	特集：「美術館の引っ越し」 引っ越しのキーマン(「専門は古美術です」[宮田太樹]、「作品の健康管理コンサバター」[渡抜由季])／輸送のプロにさく-美術館の引っ越し 日本通運九州美術品事業所 山本新さん[聞き手：鬼本佳代子]／作品はどこへ?／4コマ漫画「ラファエル・コラン《海辺にて》の旅」[正路佐知子]／所蔵品紹介：富永朝堂《粧》[吉田暁子]／「どこでも美術館」はじめました[崎田明香]／つきなみ講座情報／編集後記[鬼本佳代子]	A2 十字折	4	平成29年 1月 1日

協力事業

大学の授業等への協力

当館学芸員によるレクチャーを行った。

日 時：平成28年4月23日(土)

参加者：西南学院大学博物館実習受講生 学生23人 引率1人

日 時：平成28年4月29日(金・祝)

参加者：九州大学芸術工学部「芸術文化環境論」学外演習 学生124人 引率3人

日 時：平成28年5月8日(日)

参加者：九州大学博物館教育論受講生 学生48人 引率1人

日 時：平成28年6月4日(土)

参加者：西南学院大学博物館教育論受講生 学生22人 引率1人

全国美術館会議総会および小規模館研究部会への協力

全国美術館会議総会が福岡で開催され、その会場運営を補助。翌日に同会議のツアー会場として展覧会を案内。また、同会議の小規模館研究部会へ会場を提供。

日 時：平成28年5月26日(木) 全国美術館会議総会

平成28年5月27日(金) 同会議ツアーおよび小規模館研究部会開催

ICA Mobile Preconference 2016への共催

美術館あるいは美術分野でのモバイル機器使用なども鑑み、国際的な情報もとりにいれるため、第66回ICA(International Communication Association)の分科会であるモバイル部門の事前会議に共催し、会場提供を行った。

日 時：平成28年6月8日(水)

場 所：1階講堂および教養講座室

紀要の発行

平成28年度、福岡市美術館において「福岡市美術館 研究紀要 第5号」を発行した。内容は以下の通りである。

題目	執筆者
ゴジラ展 大怪獣、創造の軌跡、その内容について	山口 洋三
【報告文】アニッシュ・カプーア《虚ろなる母》の輸送のための保護処置—シクロドデカンの有効性について—	渡抜 由季
【資料紹介】満州の甲斐巳八郎 雑誌『協和』掲載挿絵・執筆記事②	中山 喜一郎
『雲中庵茶会記』翻刻稿①	後藤 恒 岩永 悦子 宮田 太樹

館外調査

福岡市美術館では、諸事業の充実を図りその効果を高めるため、たゆまぬ調査研究活動に努めている。以下は、平成28年度に館外においておこなった主な調査研究記録である。

日時	目的	日数	担当	関連する事業
平成28年5月19日から 1年間	美術館教育活動の記録化とその歴史的変遷に関する研究	1年間	鬼本佳代子(共同研究者 目黒区美術館・降旗千賀子 フリーランス・前田淳子)	鹿島美術財団「美術に関する調査研究」助成

美術資料

平成28年度、福岡市美術館は近現代美術資料を57点、古美術資料を214点収集した。

近現代美術

所蔵品番号順であり、研究資料は末尾に記載

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	法量 (cm)	収集法	備品受入番号
油彩	1-A-618	菊畑 茂久馬	ルーレット	1964	金属、ヘルメット、塗料、鉛筆・板	106.2×42.5×14	購入	42812758
油彩	1-A-670	梅野 恒子	無題	1998-2003	油彩・画布	53.2×45.2	寄贈	42813277
油彩	1-A-671	梅野 恒子	ザリガニとりの日々	2002	油彩・画布	45.2×37.8	寄贈	42813278
油彩	1-A-672	梅野 恒子	めぐりあう時	2009	油彩・画布	162.3×130.3	寄贈	42813279
油彩	1-A-673	オチ オサム	(題不詳)	1970-80年代か	油彩・画布	33.7×24.3	寄贈	42813288
油彩	1-A-674	オチ オサム	(題不詳)	1970-80年代か	油彩・画布	33×24.4	寄贈	42813289
油彩	1-A-675	オチ オサム	(題不詳)	1970-80年代か	油彩・画布	25.2×29.5	寄贈	42813290
油彩	1-A-676	尾花 成春	(題不詳)	1983	油彩・画布	14.2×18	寄贈	42813292
油彩	1-A-677	尾花 成春	筑後川より	1984	油彩・画布	45.5×53.1	寄贈	42813291
油彩	1-A-678	桜井 孝身	(題不詳)	1978	油彩・画布	45.5×53.5	寄贈	42813286
油彩	1-A-679	桜井 孝身	(題不詳)	不詳	油彩・画布	32×41	寄贈	42813287
油彩	1-A-680	田部 光子	ある男	1976年以後	油彩、パステル、チョーク、写真・シルクスクリン・紙	219×110	寄贈	42813283
油彩	1-A-681	光行 洋子	White Construction 97-2	1997	油彩・アクリル板、画布	181.8×227.2	寄贈	42813275
油彩	1-A-682	光行 洋子	蒼のゆらめき 2013	2013	油彩・画布	130.3×162.1	寄贈	42813276
水彩	1-C-286	大浦 ころこ	樹の子供 7	2010	水彩、鉛筆・紙	229.5×298.5	購入	42812760
水彩	1-C-297	尾花 成春	(題不詳)	1980年代	水彩、色鉛筆、鉛筆・紙	26×38.2	寄贈	42813292
水彩	1-C-298	貝島 福道	(題不詳)	不詳	インク、水彩・紙	18.1×25.7	寄贈	42813294
素描	1-D-448	池田 龍雄	(題不詳)	1960	インク・紙	25.9×35.5	寄贈	42813295
彫刻	1-G-86	朝倉 文夫	猫	不詳	ブロンズ	25.9×35.5	寄贈	42813252
彫刻	1-G-87	朝倉 文夫	兎	不詳	ブロンズ	12×13×26.5	寄贈	42813251
彫刻	1-G-88	柴田 善二	女優志願	1963	木(樟)	151×53×49	寄贈	42813282
彫刻	1-G-89	宮崎 準之助	腕木のない馬車	1974	木(樟)	52.6×182.8×72	寄贈	42813284
彫刻	1-G-90	宮崎 準之助	倚像習作	1985	木(樟)	40.5×15×19.7	寄贈	42813285
彫刻	1-G-91	山崎 朝雲	母の像	1888	木彫、彩色	22.5×20×17	寄贈	42813280
彫刻	1-G-92	山崎 秀雄	朝雲のデスマスク	1954	石膏	11.8×18.9×24.8	寄贈	42813281
日本画	2-B-37	朝倉 摂	日本1958	1958	紙本着色、六曲一隻	168×368.9	寄贈	42813253
日本画	2-B-38	朝倉 摂	瓜子姫と天邪鬼	不詳	紙本着色	41×53	寄贈	42813254
水彩	2-C-14	佐藤 忠良	(題不詳)	不詳	水彩・紙	27.2×19.9	寄贈	42813268
水彩	2-C-15	佐藤 忠良	(題不詳)	不詳	水彩・紙	27.4×19.9	寄贈	42813269
素描	2-D-1621	藤野 一友	(題不詳)	不詳	鉛筆、色鉛筆・紙	28.6×20.2	寄贈	42813304
素描	2-D-1622	藤野 一友	(スケッチブック)	不詳	鉛筆・紙	26×18.3	寄贈	42813305
版画	2-E-1628	朝倉 摂	(題不詳)	不詳	リトグラフ・紙	41.9×38	寄贈	42813255
版画	2-E-1629	朝倉 摂	コスモス	不詳	リトグラフ・紙	29.5×45.3	寄贈	42813256
版画	2-E-1630	朝倉 摂	リア	不詳	リトグラフ・紙	28.9×44.2	寄贈	42813257
版画	2-E-1631	松谷 武判	LE CERF-VOLANT 凧	1968	エッチング・紙	33.8×24.5	寄贈	42813296
版画	2-E-1632	松谷 武判	In the Morning "朝" Paris	1970	シルクスクリン・紙	52×41.7	寄贈	42813297
版画	2-E-1633	松谷 武判	グラン・パレ、パリ	1974	シルクスクリン・紙	54×41.6	寄贈	42813298

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	制作年	素材・技法	法量 (cm)	収集法	備品受入番号
版画	2-E-1634	松谷 武判	FLY-F, ひやくのF	1974	シルクスクリーン・紙	65.3×50	寄贈	42813299
彫刻	2-G-47	朝倉 響子	(題不詳)	1979	ブロンズ	57×23.5×10.5	寄贈	42813258
彫刻	2-G-48	朝倉 響子	レベッカ	1984	ブロンズ	30×17×20	寄贈	42813259
彫刻	2-G-49	朝倉 響子	節子	不詳	テラコッタ	16×14×17	寄贈	42813262
彫刻	2-G-50	朝倉 響子	(題不詳)	不詳	ブロンズ	56×15×18.5	寄贈	42813260
彫刻	2-G-51	朝倉 響子	(題不詳)	不詳	ブロンズ	54×13×16.5	寄贈	42813261
彫刻	2-G-52	朝倉 響子	(題不詳)	不詳	金属	16.1×12.2×1	寄贈	42813263
彫刻	2-G-53	溝口 寛	(題不詳)	1966	ブロンズ	88×20×29	寄贈	42813266
彫刻	2-G-54	溝口 寛	(題不詳)	1971	ブロンズ	50×14×10.5	寄贈	42813264
彫刻	2-G-55	溝口 寛	(題不詳)	1971	FRP	171×56×37.5	寄贈	42813267
彫刻	2-G-56	溝口 寛	(題不詳)	1974	ブロンズ	24×10×14.5	寄贈	42813265
資料	2-K-7	作者不詳	寒山拾得	不詳	絹本墨画、対幅	140.4×46	寄贈	42813272
資料	2-K-8	作者不詳	慈姑(クワイ)図	不詳	紙本墨画淡彩	32.6×47.2	寄贈	42813273
資料	2-K-9	作者不詳	扇面画	不詳	紙本墨画淡彩	41.8×53	寄贈	42813274
資料	2-K-10	作者不詳 (朝倉門下生か)	(題不詳)	不詳	石膏に着色	170×45×55	寄贈	42813270
資料	2-K-11	作者不詳 (松田尚久か)	(題不詳)	不詳	石膏	68.5×34.7×53.8	寄贈	42813271
油彩	3-E-415	ケイト・ヴァンホウテン	無題	1984	油彩、木炭・画布 (紙に貼り付け)	40.4×41.8	寄贈	42813300
版画	3-E-781	S.W.ヘイター	迷路	1984	エッチング、ビュラン・紙(2版3色)	51.9×35.4	寄贈	42813303
版画	3-E-782	ケイト・ヴァンホウテン	ギリシャ神話の魔女	1974	シルクスクリーン・紙	77×55.9	寄贈	42813301
版画	3-E-783	ケイト・ヴァンホウテン	海景II	1975	シルクスクリーン・紙	20.5×25	寄贈	42813302

古美術

所蔵品番号順であり、研究資料は末尾に記載

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	収集法	備品受入番号
絵画	14-B-68	日本	阿弥陀三尊来迎図	鎌倉時代末期-南北朝時代	絹本着色	92.7×33.2	寄贈	42806753
絵画	14-B-69	伝・俵屋宗達	仙人図(鍾離権)	江戸時代	紙本墨画	93.6×43.7	寄贈	42806754
絵画	14-B-70	伝・酒井指一(伝・鈴木某一(伝・鈴木守一)	二行書・花鳥図 三幅対	江戸時代	紙本淡彩/墨書	各80.4×27.0	寄贈	42806755
絵画	14-B-71	伝・貴名海屋	山水図屏風 六曲一双	江戸時代	紙本墨画	(各紙)124.6×51.5	寄贈	42806756
絵画	14-B-72	衣笠守正	和朝曲水図屏風 六曲一隻	近代	紙本着色	142.0×307.0	寄贈	42806759
陶磁	14-Ha-206	美濃焼	美濃天目茶碗	江戸時代	陶器	高さ9.0 口径11.4	寄贈	42811607
染織	14-Hd-373	タン・イン(夫人)	ガルータ文様更紗テーブルランナー	1943-45年	木綿	縦36.9 横91.5	寄贈	42811608
染織	14-Hd-374	タン・リンニオ	ベチコート	1950年代	木綿、ゴムひも	丈54.4 裾幅81.3	寄贈	42811609
染織	14-Hd-375	タン・リンニオ	ベチコート	1950年代	木綿	丈56.0 幅64.8	寄贈	42811610
染織	14-Hd-376	不詳	蝶蓮文様更紗腰布	1970年代	木綿	縦108.0 横280.2	寄贈	42811611
書跡	14-I-9	江月宗玩	江月宗玩墨蹟	江戸時代	紙本墨書	27.8×60.7	寄贈	42806757
書跡	14-I-10	仙厓義梵	蒙古山詩	江戸時代	紙本墨書	128.8×93.1	寄贈	42806758
絵画	24-B-1	仙厓義梵	善財採薬図	江戸時代	紙本墨画	95.8×25.8	寄贈	42806698
絵画	24-B-2	仙厓義梵	布袋図	江戸時代	紙本墨画	93.4×33.6	寄贈	42806699
絵画	24-B-3	仙厓義梵	蜆子和尚図	江戸時代	紙本墨画	28.5×40.0	寄贈	42806700
絵画	24-B-4	仙厓義梵	香巖撃竹図	江戸時代	紙本墨画	104.4×28.1	寄贈	42806701
絵画	24-B-5	仙厓義梵	惠比寿図	江戸時代	紙本墨画	98.2×28.5	寄贈	42806702
絵画	24-B-6	仙厓義梵	貝原益軒図	江戸時代	絹本着色	81.4×31.2	寄贈	42806703
絵画	24-B-7	仙厓義梵	彩色人物図	江戸時代	絹本着色	90.2×33.8	寄贈	42806704
絵画	24-B-8	仙厓義梵	博多湾図	江戸時代	紙本墨画	28.5×42.0	寄贈	42806705
絵画	24-B-9	仙厓義梵	筥崎図	江戸時代	紙本墨画	98.9×29.6	寄贈	42806706
絵画	24-B-10	仙厓義梵	柱島図	江戸時代	紙本墨画	33.3×40.9	寄贈	42806707
絵画	24-B-11	仙厓義梵	宝満山図	江戸時代	紙本墨画	29.3×61.4	寄贈	42806708
絵画	24-B-12	仙厓義梵	大宰府図	江戸時代	紙本墨画	32.2×51.9	寄贈	42806709
絵画	24-B-13	仙厓義梵	富士山図	江戸時代	紙本墨画	28.0×44.8	寄贈	42806710
絵画	24-B-14	仙厓義梵	すず玉名人図	江戸時代	紙本墨画	80.2×31.8	寄贈	42806711
絵画	24-B-15	仙厓義梵	玉競り図	江戸時代	紙本墨画	60.2×25.2	寄贈	42806712
絵画	24-B-16	仙厓義梵	花見図	江戸時代	紙本墨画	32.6×52.9	寄贈	42806713
絵画	24-B-17	仙厓義梵	牛図	江戸時代	紙本墨画	30.5×47.5	寄贈	42806714
絵画	24-B-18	仙厓義梵	猿図	江戸時代	紙本墨画	38.6×50.3	寄贈	42806715
絵画	24-B-19	仙厓義梵	双狗図	江戸時代	紙本墨画	31.2×52.4	寄贈	42806716
絵画	24-B-20	仙厓義梵	猪図	江戸時代	紙本墨画	32.1×56.2	寄贈	42806717
絵画	24-B-21	仙厓義梵	竹図	江戸時代	紙本墨画	85.8×30.8	寄贈	42806718
絵画	24-B-22	仙厓義梵	牡丹図	江戸時代	絹本墨画	70.6×16.2	寄贈	42806719
絵画	24-B-23	仙厓義梵	麦に揚げ飛鳥図	江戸時代	紙本墨画	83.5×29.0	寄贈	42806720
絵画	24-B-24	仙厓義梵	円相図	江戸時代	紙本墨画	31.3×51.3	寄贈	42806721
絵画	24-B-25	仙厓義梵	弁財天図	江戸時代	紙本墨画	27.3×11.2	寄贈	42806722
絵画	24-B-26	仙厓義梵	いろは弁図	江戸時代	紙本墨画	100.4×28.1	寄贈	42806723
絵画	24-B-27	仙厓義梵	松風釜図	江戸時代	紙本墨画	68.2×28.2	寄贈	42806724
絵画	24-B-28	仙厓義梵	銚子盃図	江戸時代	紙本墨画	36.2×53.2	寄贈	42806725
絵画	24-B-29	仙厓義梵	自己葬図	江戸時代	紙本墨画	36.7×27.9	寄贈	42806726
絵画	24-B-30	仙厓義梵	月歌図	江戸時代	紙本墨画	92.6×28.6	寄贈	42806727
絵画	24-B-31	仙厓義梵	如々図	江戸時代	紙本墨画	95.8×28.2	寄贈	42806728
陶磁	24-Ha-1	日本	三島手茶碗	江戸時代	陶器	高さ8.7 口径11.0	寄贈	42806744
陶磁	24-Ha-2	日本	白釉鼎形香炉	江戸時代	陶器	高さ9.5 胴径6.4	寄贈	42806745
陶磁	24-Ha-3	仙厓義梵	鳩形香合	江戸時代	陶器	長さ4.8 高さ4.7	寄贈	42806746
陶磁	24-Ha-4	4代・正木宗七	獅子舞人物置物	江戸時代	陶器	高さ5.7 幅6.2	寄贈	42806747
陶磁	24-Ha-5	4代・正木宗七	切炭形書鎮	江戸時代	陶器	長さ7.8 高さ3.3	寄贈	42806748
陶磁	24-Ha-6	日本	陶硯	江戸時代	陶器	縦8.8 横7.8 高さ2.9	寄贈	42806749
陶磁	24-Ha-7	日本	勾玉形香合	江戸時代	陶器	長さ5.7 高さ3.2	寄贈	42806750
漆工	24-Hb-1	日本	日の丸香合	江戸時代	木胎漆塗	径6.3 高さ1.4	寄贈	42806751
其他	24-Hf-1	仙厓義梵	茶杓 共筒	江戸時代	竹製	長さ18.5 筒の長さ21.7	寄贈	42806752

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	収集法	備品受入番号
書跡	24-I-1	仙厓義梵	述懐(和歌)	江戸時代	紙本墨書	35.8×6.0	寄贈	42806729
書跡	24-I-2	仙厓義梵	山鳩(和歌)	江戸時代	紙本墨書	35.9×5.9	寄贈	42806730
書跡	24-I-3	仙厓義梵	詠散花(和歌)	江戸時代	紙本墨書	36.0×5.7	寄贈	42806731
書跡	24-I-4	仙厓義梵	水中月(和歌)	江戸時代	紙本墨書	36.0×6.0	寄贈	42806732
書跡	24-I-5	仙厓義梵	左近の桜(和歌)	江戸時代	紙本墨書	20.6×17.9	寄贈	42806733
書跡	24-I-6	仙厓義梵	六字名号	江戸時代	紙本墨書	23.4×13.8	寄贈	42806734
書跡	24-I-7	仙厓義梵	南無大師一行書	江戸時代	紙本墨書	123.9×30.0	寄贈	42806735
書跡	24-I-8	仙厓義梵	幻住庵の桜(和歌)	江戸時代	紙本墨書	99.3×16.6	寄贈	42806736
書跡	24-I-9	仙厓義梵	茶説	江戸時代	紙本墨書	30.5×50.7	寄贈	42806737
書跡	24-I-10	仙厓義梵	雨請歌	江戸時代	紙本墨書	23.7×30.8	寄贈	42806738
書跡	24-I-11	仙厓義梵	贈福聚禪師詩	江戸時代	紙本墨書	23.3×31.1	寄贈	42806739
書跡	24-I-12	仙厓義梵	楽只の書	江戸時代	紙本墨書	28.8×48.6	寄贈	42806740
書跡	24-I-13	仙厓義梵	辞世の書	江戸時代	紙本墨書	55.1×25.1	寄贈	42806741
書跡	24-I-14	仙厓義梵	宗七宛書簡	江戸時代	紙本墨書	22.9×32.2	寄贈	42806742
書跡	24-I-15	仙厓義梵	欲寡神安書	江戸時代	紙本墨書	30.2×96.3	寄贈	42806743
陶磁	25-Ha-1	中国	彩陶双耳壺	新石器時代	土器	高さ44.6 肩径43.2	寄贈	42811456
陶磁	25-Ha-2	中国	彩陶双耳壺	新石器時代	土器	高さ33.6 胴径47.5	寄贈	42811457
陶磁	25-Ha-3	中国	灰釉双耳長頸壺	漢時代	陶器	高さ45.8 胴径37.3	寄贈	42811458
陶磁	25-Ha-4	中国	灰釉双耳壺	漢時代	陶器	高さ31.7 胴径34.9	寄贈	42811459
陶磁	25-Ha-5	中国	灰釉蓋付鼎	漢時代	陶器	総高19.0 最大幅18.7	寄贈	42811460
陶磁	25-Ha-6	中国	緑釉倉	漢時代	陶器	高さ47.0 幅41.0	寄贈	42811461
陶磁	25-Ha-7	中国	緑釉倉	漢時代	陶器	高さ39.8 幅44.3	寄贈	42811462
陶磁	25-Ha-8	中国	緑釉甕	漢時代	陶器	高さ14.7 幅29.4	寄贈	42811463
陶磁	25-Ha-9	中国	緑釉鴨池	漢時代	陶器	高さ8.0 幅23.1	寄贈	42811464
陶磁	25-Ha-10	中国	緑釉耳杯	漢時代	陶器	高さ3.2 長さ10.2	寄贈	42811465
陶磁	25-Ha-11	中国	緑釉罎	漢時代	陶器	高さ28.6 最大径20.4	寄贈	42811466
陶磁	25-Ha-12	中国	緑褐釉罎	漢時代	陶器	高さ 24.2 胴径15.9	寄贈	42811467
陶磁	25-Ha-13	中国	褐釉罎	漢時代	陶器	高さ31.0 胴径19.5	寄贈	42811468
陶磁	25-Ha-14	中国	緑釉鍾	漢時代	陶器	高さ42.9 胴径28.7	寄贈	42811469
陶磁	25-Ha-15	中国	緑釉壺	漢時代	陶器	高さ37.7 胴径25.9	寄贈	42811470
陶磁	25-Ha-16	中国	緑釉壺	漢時代	陶器	高さ30.7 胴径24.2	寄贈	42811471
陶磁	25-Ha-17	中国	緑釉壺	漢時代	陶器	高さ14.2 胴径11.7	寄贈	42811472
陶磁	25-Ha-18	中国	緑釉壺	漢時代	陶器	高さ16.9 胴径16.6	寄贈	42811473
陶磁	25-Ha-19	中国	緑釉壺	漢時代	陶器	高さ9.5 胴径9.4	寄贈	42811474
陶磁	25-Ha-20	中国	加彩蛋形壺	漢時代	陶器	高さ25.0 長径28.7	寄贈	42811475
陶磁	25-Ha-21	中国	加彩蓋付壺	漢時代	陶器	総高54.2 胴径34.6	寄贈	42811476
陶磁	25-Ha-22	中国	加彩蓋付紡	漢時代	陶器	総高44.1 胴19.7×19.7	寄贈	42811477
陶磁	25-Ha-23	中国	加彩紡	漢時代	陶器	高さ32.3 胴18.0×18.0	寄贈	42811478
陶磁	25-Ha-24	中国	加彩三足香炉	漢時代	陶器	高さ9.1 胴径16.0	寄贈	42811479
陶磁	25-Ha-25	中国	加彩仕女	漢時代	陶器	高さ68.2 最大幅26.4	寄贈	42811480
陶磁	25-Ha-26	中国	加彩仕女	漢時代	陶器	高さ41.5 最大幅18.9	寄贈	42811481
陶磁	25-Ha-27	中国	加彩馬	漢時代	陶器	高さ26.5 長さ37.5	寄贈	42811482
陶磁	25-Ha-28	中国	加彩馬頭部	漢時代	陶器	高さ18.0 長さ19.0	寄贈	42811483
陶磁	25-Ha-29	中国	加彩鶏	漢時代	陶器	高さ14.9 長さ15.4	寄贈	42811484
陶磁	25-Ha-30	中国	加彩鶏	漢時代	陶器	高さ11.1 長さ12.4	寄贈	42811485
陶磁	25-Ha-31	中国	加彩官人	南北朝時代	陶器	高さ17.5 最大幅4.5	寄贈	42811486
陶磁	25-Ha-32	中国	加彩仕女	南北朝時代	陶器	高さ17.3 最大幅5.3	寄贈	42811487
陶磁	25-Ha-33	中国	加彩仕女	南北朝時代	陶器	高さ21.6 最大幅5.6	寄贈	42811488
陶磁	25-Ha-34	中国	加彩天王	唐時代	陶器	高さ62.1 最大幅25.5	寄贈	42811489
陶磁	25-Ha-35	中国	加彩仕女	唐時代	陶器	高さ36.7 最大幅9.7	寄贈	42811490
陶磁	25-Ha-36	中国	加彩駱駝	唐時代	陶器	高さ53.1 長さ38.5	寄贈	42811491
陶磁	25-Ha-37	中国	三彩官人	唐時代	陶器	高さ88.5 幅20.5	寄贈	42811492
陶磁	25-Ha-38	中国	三彩男子	唐時代	陶器	高さ28.1 最大幅8.4	寄贈	42811493
陶磁	25-Ha-39	中国	三彩仕女	唐時代	陶器	高さ25.0 最大幅6.9	寄贈	42811494
陶磁	25-Ha-40	中国	緑釉蓋付壺	唐時代	陶器	総高20.5 底径9.2	寄贈	42811495
陶磁	25-Ha-41	中国	三彩壺	唐時代	陶器	高さ13.4 胴径20.4	寄贈	42811496

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	収集法	備品受入番号
陶磁	25-Ha-42	中国	三彩三足盤	唐時代	陶器	高さ3.1 口径11.1	寄贈	42811497
陶磁	25-Ha-43	中国	三彩蓋付丸壺	唐時代	陶器	高さ6.2 胴径8.9	寄贈	42811498
陶磁	25-Ha-44	中国	三彩杯	唐時代	陶器	高さ3.0 口径4.6	寄贈	42811499
陶磁	25-Ha-45	中国	三彩杯	唐時代	陶器	高さ3.3 口径5.0	寄贈	42811500
陶磁	25-Ha-46	中国	三彩杯	唐時代	陶器	高さ3.2 口径6.0	寄贈	42811501
陶磁	25-Ha-47	中国	三彩猿笛	唐時代	陶器	高さ4.0 径4.3	寄贈	42811502
陶磁	25-Ha-48	中国	三彩花文陶枕	唐時代	陶器	高さ5.1 幅11.0 奥行8.7	寄贈	42811503
陶磁	25-Ha-49	中国・越州窯系	青磁水注	五代-北宋時代	磁器	高さ21.1 胴径15.1	寄贈	42811504
陶磁	25-Ha-50	中国・越州窯系	青磁水注	北宋時代	磁器	高さ20.5 胴径12.8	寄贈	42811505
陶磁	25-Ha-51	中国	青磁刻花蓮弁文多嘴壺	北宋時代	磁器	高さ26.8 胴径16.4	寄贈	42811506
陶磁	25-Ha-52	中国・耀州窯	青磁印花宝相華唐草文碗	北宋時代	磁器	高さ4.8 口径11.3	寄贈	42811507
陶磁	25-Ha-53	中国・鈞窯	青磁鉢	宋時代	磁器	高さ7.2 口径19.7	寄贈	42811508
陶磁	25-Ha-54	中国	青磁刻花蓮弁文鉢	宋時代	磁器	高さ5.8 口径12.5	寄贈	42811509
陶磁	25-Ha-55	中国・同安窯	青磁刻花鉢	宋時代	磁器	高さ7.5 口径17.4	寄贈	42811510
陶磁	25-Ha-56	中国・龍泉窯	青磁刻花花文鉢	宋時代	磁器	高さ8.3 口径18.4	寄贈	42811511
陶磁	25-Ha-57	中国・龍泉窯	青磁刻花花文鉢	北宋時代	磁器	高さ8.1 口径19.0	寄贈	42811512
陶磁	25-Ha-58	中国・龍泉窯	青磁刻花蓮弁文鉢	宋時代	磁器	高さ7.6 口径18.0	寄贈	42811513
陶磁	25-Ha-59	中国・龍泉窯	青磁鉢	南宋-元時代	磁器	高さ3.3 口径14.5	寄贈	42811514
陶磁	25-Ha-60	中国・龍泉窯	青磁刻花蓮弁文鉢	南宋-元時代	磁器	高さ6.8 口径16.5	寄贈	42811515
陶磁	25-Ha-61	中国・龍泉窯	青磁蓮弁文鉢	南宋-元時代	磁器	高さ7.9 口径17.0	寄贈	42811516
陶磁	25-Ha-62	中国・龍泉窯	青磁蓮弁文鉢	元時代	磁器	高さ7.6 口径17.8	寄贈	42811517
陶磁	25-Ha-63	中国	青磁花文四耳小壺	明時代	磁器	高さ7.9 胴径8.1	寄贈	42811518
陶磁	25-Ha-64	中国	白釉瓜形壺	宋時代	陶器	高さ9.6 胴径13.9	寄贈	42811519
陶磁	25-Ha-65	中国・景德鎮窯	青白磁水注	宋時代	磁器	高さ19.3 胴径14.9	寄贈	42811520
陶磁	25-Ha-66	中国・福建省系	青白磁水注	宋時代	磁器	高さ14.5 胴径12.0	寄贈	42811521
陶磁	25-Ha-67	中国・景德鎮窯	青白磁輪花杯・托	宋時代	磁器	総高8.1 托の口径14.4	寄贈	42811522
陶磁	25-Ha-68	中国・景德鎮窯	青白磁輪花杯・托	宋時代	磁器	総高7.8 托の口径14.5	寄贈	42811523
陶磁	25-Ha-69	中国・福建省系	青白磁輪花杯・托	宋時代	磁器	総高5.8 托の口径14.2	寄贈	42811524
陶磁	25-Ha-70	中国	青白磁刻花花文輪花鉢	宋時代	磁器	高さ7.5 口径19.6	寄贈	42811525
陶磁	25-Ha-71	中国	青白磁刻花唐子文鉢	宋時代	磁器	高さ7.7 口径20.8	寄贈	42811526
陶磁	25-Ha-72	中国	青白磁鉢	宋時代	磁器	高さ8.1 口径16.7	寄贈	42811527
陶磁	25-Ha-73	中国	青白磁輪花鉢	宋時代	磁器	高さ4.4 口径12.6	寄贈	42811528
陶磁	25-Ha-74	中国	青白磁鉢	南宋-元時代	磁器	高さ6.4 口径18.4	寄贈	42811529
陶磁	25-Ha-75	中国	青白磁鉢	元時代	磁器	高さ6.2 口径17.6	寄贈	42811530
陶磁	25-Ha-76	中国	青白磁鉢	南宋-元時代	磁器	高さ6.1 口径18.0	寄贈	42811531
陶磁	25-Ha-77	中国	青白磁鉢	南宋-元時代	磁器	高さ8.5 口径19.8	寄贈	42811532
陶磁	25-Ha-78	中国	青白磁四耳壺	宋時代	磁器	高さ4.2 胴径5.2	寄贈	42811533
陶磁	25-Ha-79	中国・福建省系	青白磁菊花形合子	宋時代	磁器	高さ5.5 胴径12.1	寄贈	42811534
陶磁	25-Ha-80	中国・徳化窯	青白磁唐草文合子	元時代	磁器	高さ9.9 胴径17.6	寄贈	42811535
陶磁	25-Ha-81	中国	青白磁小瓶	元時代	磁器	高さ9.6 胴径5.4	寄贈	42811536
陶磁	25-Ha-82	中国	青白磁小瓶	元時代	磁器	高さ10.8 胴径5.6	寄贈	42811537
陶磁	25-Ha-83	中国	青白磁日月壺	南宋-元時代	磁器	高さ25.7 胴径11.2	寄贈	42811538
陶磁	25-Ha-84	中国	白磁日月壺	南宋-元時代	磁器	高さ32.7 胴径11.5	寄贈	42811539
陶磁	25-Ha-85	中国	白磁日月壺	南宋-元時代	磁器	高さ63.2 胴径17.2	寄贈	42811540
陶磁	25-Ha-86	中国	白磁日月壺	南宋-元時代	磁器	高さ44.5 胴径12.1	寄贈	42811541
陶磁	25-Ha-87	中国・景德鎮窯	白磁瓶	元時代	磁器	高さ18.2 胴径10.6	寄贈	42811542
陶磁	25-Ha-88	中国・景德鎮窯	白磁瓶	元時代	磁器	高さ18.0 胴径10.6	寄贈	42811543
陶磁	25-Ha-89	中国	青磁水注	南宋-元時代	磁器	高さ19.9 胴径13.6	寄贈	42811544
陶磁	25-Ha-90	中国	白磁水注	宋時代	磁器	総高10.7 胴径9.9	寄贈	42811545
陶磁	25-Ha-91	中国・内府窯	白釉鉄絵四耳瓶	元時代	陶器	高さ26.5 胴径16.6	寄贈	42811546
陶磁	25-Ha-92	中国	天目小碗	宋時代	陶器	高さ4.2 口径10.3	寄贈	42811547
陶磁	25-Ha-93	中国	天目小碗	宋時代	陶器	高さ4.0 口径9.5	寄贈	42811548
陶磁	25-Ha-94	中国・鈞窯	澱青釉皿	元時代	陶器	高さ3.2 口径21.3	寄贈	42811549
陶磁	25-Ha-95	中国	褐釉蓋付瓶	南宋時代	陶器	総高25.7 胴径14.7	寄贈	42811550
陶磁	25-Ha-96	中国・磁州窯系	黒釉褐彩草花文瓶	金時代	陶器	高さ27.7 胴径15.3	寄贈	42811551
陶磁	25-Ha-97	中国・磁州窯系	黒釉堆白線文壺	金時代	陶器	高さ9.9 胴径12.4	寄贈	42811552

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	時代	素材・技法	法量(cm)	収集法	備品受入番号
陶磁	25-Ha-98	中国・磁州窯	白釉劃花草花文枕	北宋時代	陶器	高さ10.8 幅23.7	寄贈	42811553
陶磁	25-Ha-99	中国・磁州窯	白釉花文枕	宋時代	陶器	高さ17.3 幅26.8	寄贈	42811554
陶磁	25-Ha-100	中国・磁州窯	白釉葉形枕	宋時代	陶器	高さ19.6 幅28.5	寄贈	42811555
陶磁	25-Ha-101	中国・磁州窯	白釉黒花虎文枕	宋時代	陶器	幅28.0 奥行16.0	寄贈	42811556
陶磁	25-Ha-102	中国・磁州窯	白釉搔落花文枕	金時代	陶器	高さ13.0 幅19.9	寄贈	42811557
陶磁	25-Ha-103	中国	三彩劃花人物文枕	金時代	陶器	高さ14.6 幅44.0	寄贈	42811558
陶磁	25-Ha-104	中国	三彩劃花花文枕	金時代	陶器	高さ10.0 幅33.4	寄贈	42811559
陶磁	25-Ha-105	中国・磁州窯系	白釉鉢	宋時代	陶器	高さ8.5 口径19.3	寄贈	42811560
陶磁	25-Ha-106	中国・磁州窯	白釉黒花瓜形合子	元・明時代	陶器	高さ9.6 胴径19.2	寄贈	42811561
陶磁	25-Ha-107	中国・磁州窯	白釉黒花草文盤	元・明時代	陶器	高さ5.9 口径21.8	寄贈	42811562
陶磁	25-Ha-108	中国・磁州窯	白釉黒花草文盤	元・明時代	陶器	高さ5.0 口径18.6	寄贈	42811563
陶磁	25-Ha-109	中国	褐釉双耳壺	元時代	陶器	高さ33.4 胴径15.5	寄贈	42811564
陶磁	25-Ha-110	中国	焼締壺	元時代	陶器	高さ17.6 胴径9.9	寄贈	42811565
陶磁	25-Ha-111	中国	黒釉四耳壺	元時代	陶器	高さ32.8 胴径16.3	寄贈	42811566
陶磁	25-Ha-112	中国・景德鎮窯	白釉黒花人形	元時代	陶器	高さ19.6-21.5	寄贈	42811567
陶磁	25-Ha-113	中国	青花唐草文蓋付壺	明時代	磁器	総高40.3 胴径31.2	寄贈	42811568
陶磁	25-Ha-114	中国	青花唐草文壺	明時代	磁器	高さ30.8 胴径30.5	寄贈	42811569
陶磁	25-Ha-115	中国	青花唐草文盤	明時代	磁器	高さ9.0 口径52.8	寄贈	42811570
陶磁	25-Ha-116	中国	青磁青花獅子文鉢	明時代	磁器	高さ3.9 口径20.5	寄贈	42811571
陶磁	25-Ha-117	中国・景德鎮窯	青花花卉文碗	明時代	磁器	高さ8.7 口径15.0	寄贈	42811572
陶磁	25-Ha-118	中国・景德鎮窯	青花花鳥文瓶	明時代	磁器	高さ28.3 胴径16.6	寄贈	42811573
陶磁	25-Ha-119	中国・景德鎮窯	青花花卉文壺	明時代	磁器	高さ41.0 胴径34.0	寄贈	42811574
陶磁	25-Ha-120	中国・景德鎮窯	青花人物文壺	明時代	磁器	口径7.0 胴径17.0	寄贈	42811575
陶磁	25-Ha-121	中国	青花花草文瓶	明時代	磁器	高さ19.5 胴径10.8	寄贈	42811576
陶磁	25-Ha-122	中国	青花花鳥文盤	明末清初	磁器	高さ3.3 口径19.5	寄贈	42811577
陶磁	25-Ha-123	中国	青花皿	明末清初	磁器	高さ4.1 口径17.3	寄贈	42811578
陶磁	25-Ha-124	中国	青花花卉宝尽文盤	明末清初	磁器	高さ3.4 口径14.8	寄贈	42811579
陶磁	25-Ha-125	中国	青花花卉宝尽文鉢	明末清初	磁器	高さ4.6 口径14.5	寄贈	42811580
陶磁	25-Ha-126	中国	青花松竹梅文輪花盤	明末清初	磁器	高さ4.4 口径21.0	寄贈	42811581
陶磁	25-Ha-127	中国	青花龍文鉢	清時代	磁器	高さ6.0 口径24.3	寄贈	42811582
陶磁	25-Ha-128	中国	青花皿	清時代	磁器	高さ4.3 口径19.9	寄贈	42811583
陶磁	25-Ha-129	中国	瑠璃釉金彩四段重	清時代	磁器	総高12.3 径10.4	寄贈	42811584
陶磁	25-Ha-130	中国	白磁盤	明・清時代	磁器	高さ4.5 口径21.5	寄贈	42811585
陶磁	25-Ha-131	中国	法花牡丹文壺	明時代	陶器	高さ30.7 胴径26.7	寄贈	42811586
陶磁	25-Ha-132	中国	三彩宝相華唐草文五耳壺	明時代	陶器	高さ30.8 胴径28.0	寄贈	42811587
陶磁	25-Ha-133	中国	五彩花卉文六耳壺	明時代	磁器	高さ28.6 胴径24.0	寄贈	42811588
陶磁	25-Ha-134	中国・漳州窯	五彩魚文盤	明時代	磁器	高さ7.1 口径33.5	寄贈	42811589
陶磁	25-Ha-135	中国・漳州窯	五彩獅子文盤	明時代	磁器	高さ7.5 口径32.9	寄贈	42811590
陶磁	25-Ha-136	中国	紅彩牡丹唐草文壺	清時代	磁器	高さ22.4 胴径16.4	寄贈	42811591
陶磁	25-Ha-137	中国	紅彩龍唐草文壺	清時代	磁器	高さ12.8 胴径13.4	寄贈	42811592
陶磁	25-Ha-138	中国	紅彩牡丹唐草文蓋付壺	清時代	磁器	総高12.1 胴径10.7	寄贈	42811593
陶磁	25-Ha-139	ベトナム	白磁水注	13世紀	磁器	高さ14.2 胴径9.6	寄贈	42811594
陶磁	25-Ha-140	ベトナム	白磁陰刻文四耳壺	14世紀	磁器	高さ9.0 胴径9.9	寄贈	42811595
陶磁	25-Ha-141	ベトナム	青磁鉢	15世紀	磁器	高さ7.3 口径18.2	寄贈	42811596
陶磁	25-Ha-142	ベトナム	青花唐草文盤	15-16世紀	磁器	高さ5.5 口径23.5	寄贈	42811597
陶磁	25-Ha-143	タイ	青磁抱子人形	15世紀	磁器	高さ11.5 幅6.1	寄贈	42811598
陶磁	25-Ha-144	タイ	青磁練り鉢	15世紀	磁器	鉢：高さ4.1 口径8.1	寄贈	42811599
金工	25-Hc-1	中国	青銅獸環耳壺	漢時代	青銅	高さ33.8 胴径24.8	寄贈	42811600
金工	25-Hc-2	中国	青銅壺	漢時代	青銅	高さ40.7 胴径34.0	寄贈	42811601
資料	研究資料	中国	彩陶人面双耳壺	新石器時代カ	土器	高さ31.1 胴径24.9	寄贈	42811602
資料	研究資料	中国	白釉水注	時代不明	陶器	口径5.4 胴径14.0 高台径7.9	寄贈	42811603
資料	研究資料	中国	青花八宝文棧花盤断片	元時代カ	磁器	高さ7.8 口径45.5	寄贈	42811604
資料	研究資料	中国・磁州窯	彩陶人面双耳壺鉄絵魚文鉢断片	元・明時代	陶器	幅43.0	寄贈	42811605
資料	研究資料	中国	陶磁器片(約450片)				寄贈	42811606

図書・映像資料

図書

単位(冊)

		和書	洋書
購入	図書	32	3
	図録	2	2
	年報・紀要	0	0
寄贈	図書	160	25
	図録	640	59
	年報・紀要	338	0
製本資料		0	0
雑誌		322	90
合計		1,494	179
総計		1,673	

映像資料

単位(点)

	購入	寄贈
ビデオ	0	0
レーザーディスク	0	0
コンパクトディスク	0	2
DVD	0	3
合計	5	

修復

近現代美術

種別	所蔵品番号	作者名	作品名	寸法(cm)	制作年	素材・技法	数量
日本画	1-B-222	富田 溪仙	(竹に孔雀)	168.5×181.0	1925	絹本着色	1

古美術

種別	所蔵品番号	産地(作者)	作品名	法量(cm)	制作年	品質	数量
絵画	6-B-30	伝・俵屋宗達 (生没年不詳)	源氏物語図 (螢巻)	31.8×28.6	江戸時代17世紀	紙本着色	1
其他	6-Hf-14		神護寺経経帙	長45.7幅31.1	平安時代	竹、布、真鍮製	1

貸出

近現代美術

※「夢の美術館」展の貸出についてはP.16参照

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
油彩等	高島 野十郎	早春池畔	1-A-280	「没後40年 高島野十郎展」	目黒区美術館 足利市立美術館	平成28年4月9日～6月5日 平成28年6月18日～7月31日
油彩等	高島 野十郎	寧楽の春	1-A-281			
版画	恩地 孝四郎	抒情 III(「月映」I 所収)	2-E-225	「恩地孝四郎展」	和歌山県立近代美術館	平成28年4月29日～6月12日
版画	恩地 孝四郎	夏日小景(「月映」I 所収)	2-E-227			
版画	恩地 孝四郎	人体・少女	19-E-8			
素描	恩地 孝四郎	題不詳	2-D-1528			
素描	恩地 孝四郎	月に吠える石持つ胴体	2-D-1529			
素描	恩地 孝四郎	題不詳	2-D-1531			
写真	恩地 孝四郎	フォトグラム	3-F-393			
写真	恩地 孝四郎	フォトグラム	2-F-390			
油彩等	吉田 博	アルプスの山小屋	1-A-208			
油彩等	吉田 博	溪流	1-A-218			
油彩等	吉田 博	溶鉱炉	1-A-301			
油彩等	吉田 博	堀切寺	1-A-410			
油彩等	吉田 博	劔山	1-A-433			
油彩等	吉田 博	雲叢深秋	1-A-464			
油彩等	吉田 博	チューリンガムの黄昏	1-A-513			
水彩	吉田 博	日暮里	1-C-117			
水彩	吉田 博	松	1-C-142			
水彩	吉田 博	村の橋	1-C-144			
水彩	吉田 博	汐干狩り	1-C-145			
水彩	吉田 博	土手の桜	1-C-187			
水彩	吉田 博	鳩と少女	1-C-188			

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
水彩	吉田 博	雨の中の子守	1-C-190			
水彩	吉田 博	農村の夜明け	1-C-191			
水彩	吉田 博	菖蒲園	1-C-192			
水彩	吉田 博	日光	1-C-193			
水彩	吉田 博	霧の農家	1-C-195			
日本画等	富田 溪仙	立山獅子鼻越え	1-B-123	「遙かなる山一発見された風景美」	山口県立美術館	平成28年5月26日～7月3日
油彩等	山内 重太郎	作品5	1-A-348	「あの時みんな熱かった！アンフォルメルと日本の美術」	京都国立近代美術館	平成28年7月29日～9月11日
油彩等	桜井 孝身	リンチ	1-A-353			
油彩等	俣野 衛	裏切りのイメージ	1-A-357			
油彩等	菊畑 茂久馬	葬送曲 No.2	1-A-495			
油彩等	サルバドール・ダリ	ポルト・リガトの聖母	3-A-405	「ダリ展」	国立新美術館	平成28年9月14日～12月12日

古美術

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
金工		芦屋釜下絵図巻	6-B-42	「極 大茶の湯展 - 茶席の主-」	MIHO MUSEUM	平成28年6月4日～7月31日
金工		芦屋浜松舟地門釜	6-Hc-102			
金工重美		芦屋香炉釜	6-Hc-105			
絵画	仙厓義梵	博多図並黄	5-B-11	開館50周年記念「大仙厓展－禅の心、ここに集う－」展	出光美術館	平成28年10月1日～11月13日
絵画	仙厓義梵	栄西禅師像	9-B-1			
絵画	仙厓義梵	不動明王像	9-B-4			
絵画	仙厓義梵	あくび布袋図	9-B-5			
絵画	仙厓義梵	犬図	9-B-7			
絵画	仙厓義梵	円相図	9-B-9			
絵画	仙厓義梵	沖の島図	9-B-10			
絵画	仙厓義梵	子孫繁昌図	9-B-24			
絵画	仙厓義梵	釈迦三尊図	9-B-25			
絵画	仙厓義梵	鳳あげ図	9-B-33			
絵画	仙厓義梵	指月布袋図	9-B-39			
絵画	仙厓義梵	天狗図	9-B-40			
絵画	仙厓義梵	虎図	9-B-46			
絵画	仙厓義梵	波に日の出図	9-B-47			
絵画	仙厓義梵	猫に紙袋図	9-B-49			
絵画	仙厓義梵	文殊師利菩薩像	9-B-65			
其他	齋藤秋圃画／ 仙厓義梵・桑原 鳳井・友左書	二見ヶ浦文机	9-Hf-1			
書蹟	仙厓義梵	自誠	9-I-14			
書蹟	仙厓義梵	大通和尚宛書簡草稿	9-I-18			
書蹟	仙厓義梵	内典外典書籍目録貼交 屏風	9-I-20			

種別	作者名	作品名	所蔵品番号	出品展覧会	会場	会期
書蹟	仙厓義梵	梵字	9-I-25			
資料	仙厓義梵	宝満山	9-K-1			
絵画	仙厓義梵	鬼薊図	11-B-4			
絵画	仙厓義梵	老子図	11-B-20			
絵画	仙厓義梵	蛭子和尚像	12-B-5			
絵画	仙厓義梵	神授研銘并小引	12-B-6			
絵画	仙厓義梵	円相図	12-B-11			
絵画	仙厓義梵	章魚図	12-B-20			
絵画	仙厓義梵	河童図	12-B-21			
絵画	仙厓義梵	無法の竹図	12-B-25			
書蹟	仙厓義梵	玉兵衛他宛書簡	12-I-2			
資料	仙厓義梵	三徳宝図	12-K-1			
資料	仙厓義梵	絶筆の碑 拓本	12-K-3			
絵画	仙厓義梵	蒙古襲来図	14-B-6			
書蹟重美	明恵	夢記切	6-I-15			
絵画	斎藤秋圃画／仙厓義梵賛	仙厓像	14-B-54	「九大百年 美術をめぐる物語」展	福岡県立美術館(メイン会場) 九州大学総合研究博物館・九州大学医学歴史館(サテライト会場)	平成28年10月8日～11月13日
漆工		花鳥螺鈿描金盒子	4-Hb-35	「きらめきで飾る 一螺鈿の美をあつめて―」	九州国立博物館	平成28年11月15日～12月23日
漆工重文		波文螺鈿鞍	4-Hb-197		浦添市美術館	平成29年1月14日～2月19日

6月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	7/1	2	3	4			
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月			
特別展示室 A	<p>ものがたり物・語 一近代日本の静物画一(5/14~7/3)</p> <p>観覧料 大人1,200円(1,000円) 高大生800円(600円)(中学生以下無料)</p>																																					
特別展示室 B	<p>第7回 絵画展 (リベルテ113-7展)</p> <p>油彩画、水彩画約100点 観覧者数：793人</p>																																		<p>第17回 日本水彩久留米支部展</p> <p>水彩画約40点 観覧者数：495人</p>			
市民ギャラリー A	<p>鳥・花・自然の 写真展</p> <p>写真・パステル画等約100点 観覧者数：843人</p>																																				<p>田崎水彩画教室展</p> <p>水彩画約120点 観覧者数：467人</p>	
市民ギャラリー B	<p>すばらしき脊振 の四季</p> <p>写真等約50点 観覧者数：613人</p>																																				<p>火曜日の仲間展</p> <p>油彩画約30点 観覧者数：440人</p>	
市民ギャラリー C	<p>洋画グループ虹の会 &ドリーム合同作品展</p> <p>油絵、水彩画約60点 観覧者数：651人</p>																																				<p>麦の会</p> <p>水彩画約50点 観覧者数：384人</p>	
市民ギャラリー D	<p>九州藍笥会展</p> <p>書作品約80点 観覧者数：501人</p>																																				<p>第9回 82AP展</p> <p>写真約150点 観覧者数：313人</p>	

7月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	4				
	曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木				
特別展示室 A	<p>ものがたり物・語 一近代日本の静物画一</p>																																						<p>ゴジラ展 一大怪獣、創造の軌跡一(7/15~8/31)</p> <p>あしあと 観覧料 一般1400円 (1200円) 高大生800円(600円) 小中学生500円(300円)</p>	
特別展示室 B	<p>第17回 日本水彩久留米支部展</p>		<p>星雲大師一筆字書 法展</p> <p>書作品、絵画、彫刻等約60点 観覧者数：717人</p>																																				<p>画業50周年記念 光行洋子展</p> <p>油絵、アクリル画約35点 観覧者数：2,556人</p>	
市民ギャラリー A	<p>田崎水彩 画教室展</p>		<p>キャノンフォトクラブ 第27回展</p> <p>写真約50点 観覧者数：842人</p>																																				<p>ホアチア会</p> <p>油絵約30点 観覧者数：1,669人</p>	
市民ギャラリー B	<p>火曜日の 仲間展</p>		<p>中国広西大学芸術 創作展</p> <p>油絵約40点 観覧者数：1,000人</p>																																				<p>阿部直昭絵画教室 彩友会</p> <p>油絵約120点 観覧者数：1,011人</p>	
市民ギャラリー C	<p>麦の会</p>		<p>九州産業大学芸術学部写真映 像学科百瀬ゼミナル写真展</p> <p>観覧者数：901人</p>																																				<p>山本 陽一作品展</p> <p>アクリル画約30点 観覧者数：470人</p>	
市民ギャラリー D	<p>第9回 82AP展</p>		<p>NHK文化センター矢野鈴子 「楽しい水彩画教室」作品展</p> <p>水彩画約40点 観覧者数：821人</p>																																				<p>福岡女学院大学生生涯学習センター写真講座 受講生第4回写真展「九州の風」</p> <p>写真約50点 観覧者数：1,004人</p>	

8月

室名	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
特別展示室 A	<p style="text-align: center;">ゴジラ展 一大怪獣、創造の軌跡^{あしあと} (7/15~8/31) 観覧料 一般1400円 (1200円) 高大生800円(600円) 小中学生500円(300円)</p>																															
特別展示室 B																																
市民ギャラリー A																																
市民ギャラリー B																																クロージング/リニューアル特別企画展 歴史する! Doing history! (8/2~8/31)
市民ギャラリー C																																
市民ギャラリー D																																

講堂等

	講堂		教養講座室		実技講座室		版画印刷工房室		合計	
	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数	利用団体数	利用者数
4月	6	483	4	92	/	/	/	/	10	575
5月	8	1,036	5	143					13	1,179
6月	5	281	13	201					18	482
7月	6	787	5	82					11	869
8月	6	1,003	6	120					12	1,123
合計	31	3,590	33	638					64	4,228

- ※ 平成28年9月1日からリニューアル工事のため、休館。
- ※ 実技講座室は平成25年6月から貸出中止。
- ※ 版画工房室は平成27年4月から貸出中止。

平成28年度月別観覧者数

月	常設展		特別企画展		貸館展		総数	
	開催日数(日)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)	開催数(回)	観覧者数(人)
4	26	3,379	0	0	6	16,680	6	20,059
5	26	7,034	1	2,456	21	25,520	22	35,010
6	26	4,350	0	4,520	8	14,499	8	23,369
7	27	7,098	1	19,452	11	17,567	12	44,117
8	26	13,216	1	50,885	0	0	1	64,101
累計	131	35,077	3	77,313	46	74,266	49	186,656

※ 平成28年9月1日からリニューアル工事のため、休館。

読書室利用者数

小数点以下切捨

月	月総数(人)	開館日数(日)	一日平均(人)	年累計(人)	総累計(人)
4	307	26	11	307	419,361
5	389	26	14	696	419,750
6	297	26	11	993	420,047
7	593	27	21	1,586	420,640
8	1,252	26	48	2,838	421,892
年総数	2,838	131	21		

※ 平成28年9月1日からリニューアル工事のため、休館。

美術館協議会委員

50音順・敬称略・肩書きは平成28年度のもの
任期 平成28年7月1日から平成30年6月30日まで

会長	後藤 新治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	植野かおり	立花家史料館館長
学校教育関係者	納屋 亮	西長住小学校校長
	田畑 弘行	福岡市立北崎中学校校長
	宮崎 信介	博多工業高等学校校長
社会教育関係者	大森 節子	(公社)福岡市老人クラブ連合会理事
	木内 潤子	福岡市社会教育委員
	長嶋 りさ	福岡市PTA協議会副会長
	河合 昭江	福岡市青少年団体連絡会議副会長
学識経験者	李 善姬	韓国語講師
	後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
	宇田川宣人	アジア美術家連盟日本委員会日本代表
	浦上 雅司	福岡大学人文学部教授
	西高辻信宏	太宰府天満宮権宮司
	原田 真紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
	藤枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
	松尾 さち	社会福祉法人 JOY 明日への息吹 JOY倶楽部アトリエブラヴォ職業指導員
	室岡 祐司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

収集審査員

50音順・敬称略・肩書きは平成28年度のもの

近現代美術	尾崎信一郎	鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長
	西村 勇晴	北九州市立美術館長
	古田 亮	東京藝術大学大学美術館准教授
古美術	植野かおり	立花家史料館館長
	遠藤 啓介	甘木歴史資料館副館長
	菊竹 淳一	九州大学名誉教授
	渡邊 雄二	九州産業大学芸術学部教授

職員

館長	錦織 亮介	正路佐知子
副館長	中山喜一郎	吉田 暁子
美術館運営部長	谷口 恭二	渡抜 由季
リニューアル事業課長	古賀 有子	鬼本佳代子
運営係長	吉崎 謙作	主任学芸主事
	山浦 操	主任学芸主事
	徳永美由紀 (～9月)	後藤 恒
	岩田久仁彦	宮田 太樹
	白銀 哲也	嘱託員
主査(美術館大規模改修担当)	山下 毅	嘱託員
学芸課長	岩永 悦子	嘱託員
学芸係長	山口 洋三	嘱託員
		正路佐知子
		吉田 暁子
		渡抜 由季
		鬼本佳代子
		崎田 明香
		後藤 恒
		宮田 太樹
		ギャレット三宅万里子
		中原千代子
		中務 美紀
		土橋佳那子

平成28年度
福岡市美術館活動の記録

編集・発行 **福岡市美術館**
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL : 092-714-6051

印刷 株式会社四ヶ所
発行年月日 2017年9月30日

©福岡市美術館 2017年